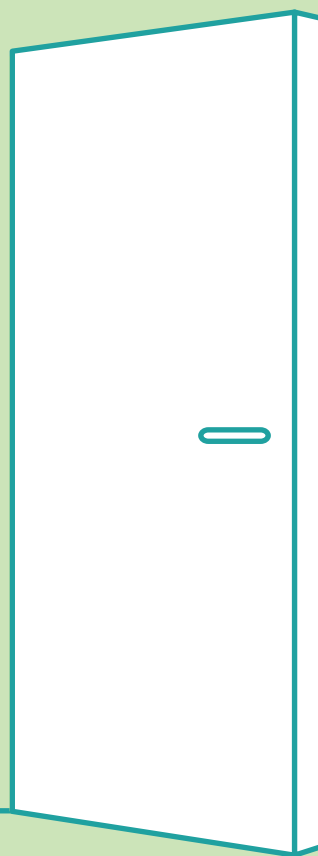


京都精華大学

2026年度 入試ガイド

KYOTO SEIKA UNIVERSITY
ADMISSION GUIDELINES
for April 2026 Enrollment



入試ガイドについて

この入試ガイドは、本学を志願するみなさんに
入試制度の概要を理解してもらうために作成しました。
内容は、入試日程、試験方式、出題内容をはじめ、
合否判定上の評価ポイントやアドバイスなどです。
特に総合型選抜については詳しく説明していますので、
ぜひ受験の準備に活用してください。



WELCOME

目次

入試概要	入試概要・スケジュール	P02-03
	2026年度の募集単位・募集人員	P04-05
	入学者に求める力	P06
	外国籍の方へ	P07
総合型選抜	総合型選抜とは？	P08-09
	総合型選抜1期 試験内容	P10-17
	総合型選抜2期 試験内容	P18-23
	総合型選抜3～6期 試験内容	P24-26
	オンライン面接/ オンラインプレゼンテーションとは？	P27
各種試験内容	鉛筆デッサンとは？	P28-29
	色彩構成とは？	P30-31
	マンガ表現とは？	P32-33
	学力2科目とは？	P34
	小論文とは？	P35
	大学入学共通テスト利用入試とは？	P35
	出願資格	P36
全体に関わること	出願書類	P37
	出願から入学までのプロセス	P38-39
	入学検定料について	P39
	受験上の配慮	P40
	よくある質問	P41-43
	入学金・学費	P44
	奨学金	P45
	2025年度入試結果	P46-47
	お問合せ	P48

この冊子の記載内容は2025年3月時点のものであり、
今後入試内容を変更する場合があります。
出願にあたっては、2025年7月以降発行予定の
『入学試験要項』を必ずご確認ください。

入試概要・スケジュール

下記は2026年度入試のスケジュールです。

入試種別ごとの出願期間、試験日、合否発表日をあらかじめ確認して、受験に備えましょう。

入試 実施時期	入試の名称	試験方式	人文学部	メディア表現学部	芸術学部	デザイン学部	マンガ学部
9月	総合型選抜 1期 エントリー方式	個別プログラム + 自己推薦書	●	●	●	●	●
	総合型選抜 2期 エントリー方式	個別プログラム + 自己推薦書	●	●	●	●	
11月	総合型選抜 3期	オンライン面接 + 自己推薦書	●	●	●	●	●
	学校推薦型選抜 (公募制)	学力(英国数から2科目) + 調査書	●	●	●	●	●
		午前 学力(英国) + 調査書	●	●			
		実技(色彩構成) + 調査書			●	●	
		午後 実技(マンガ表現) + 調査書					●
	外国人留学生入試 1期	学力(英国数から2科目)	●	●	●	●	●
午前 学力(英国)		●	●				
実技(色彩構成) + 日本語作文				●	●		
午後 実技(マンガ表現) + 日本語作文						●	
12月	総合型選抜 4期	個別プログラム + 自己推薦書	●	●			
	総合型選抜 5期	オンライン面接 + 自己推薦書	●	●			
2026年 2月	一般選抜 1期	午前 学力(英国数日世から2科目)	●	●	●	●	●
		午後 実技(鉛筆デッサン)			●	●	●
	外国人留学生入試 2期	午前 学力(英国数日世から2科目)	●	●	●	●	●
		午後 実技(鉛筆デッサン) + 日本語作文			●	●	●
一般選抜 2期	小論文	●	●				
3月	総合型選抜 6期	オンライン面接 + 自己推薦書	●	●			
	大学入学共通テスト利用入試 1期	大学入学共通テスト (高得点の2教科・2科目)	●	●	●	●	●
	大学入学共通テスト利用入試 2期		●	●			
	大学入学共通テスト利用入試 3期		●	●			

出願(エントリー)	試験日	出願可否 発表	出願期間	合否発表	入学手続 締切
エントリー 9/1(月)~9/4(木)	9/14(日) ----- 9/15(月)	9/25(木)	専願 9/25(木)~ 10/6(月)	11/1(土)	11/7(金)
エントリー 9/25(木)~9/29(月)	10/12(日)	10/17(金)	専願 10/17(金)~ 10/22(水)	11/1(土)	11/7(金)
国内学生 11/1(土)~11/6(木) 外国人留学生 10/1(水)~10/10(金)	11/14(金)			12/1(月)	12/12(金)
11/1(土)~11/6(木)	11/15(土) ----- 11/16(日)			12/1(月)	12/12(金)
10/1(水)~10/10(金)	11/15(土) ----- 11/16(日)			12/1(月)	12/12(金)
11/27(木)~12/3(水)	12/14(日)			12/22(月)	1/7(水)
国内学生 1/7(水)~1/15(木) 外国人留学生 12/19(金)~1/5(月)	2/3(火)			2/18(水)	2/24(火)
1/7(水)~1/15(木)	2/4(水)			2/18(水)	2/24(火)
12/19(金)~1/5(月)	2/4(水)			2/18(水)	2/24(火)
2/10(火)~2/19(木)	2/27(金)			3/6(金)	3/13(金)
3/2(月)~3/9(月)	3/14(土)			3/19(木)	3/23(月)
1/7(水)~1/15(木) 2/10(火)~2/19(木) 3/2(月)~3/9(月)	本学での 試験はなし			2/18(水) 3/6(金) 3/19(木)	2/24(火) 3/13(金) 3/23(月)

2026年度の募集単位・募集人員

2026年度の募集単位・募集人員は表のとおりです。

募集単位とは入学試験を実施する単位のことです、

**募集単位(学科単位・コース単位)から
志望先を選んでください。**

各学部の の部分が募集単位になります。

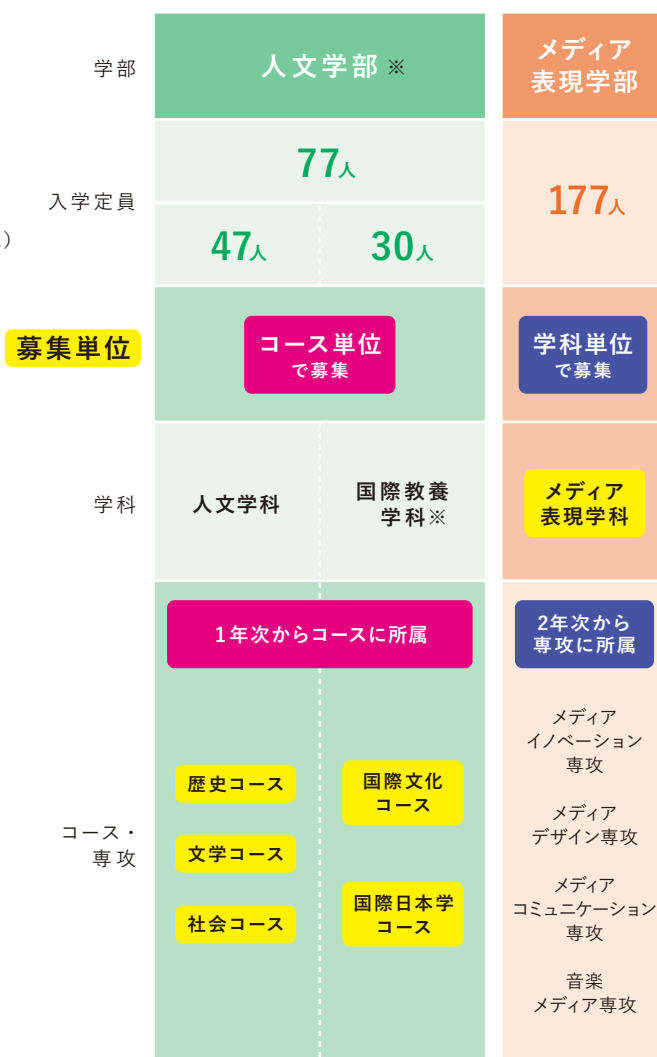
入学定員は学科単位で定め、各入試種別に対して

募集人員を割り当てています。

(指定校推薦入試、海外帰国生徒入試、社会人入試などの募集人員を含みます。)

本学で学修する能力を満たしていないと判断した場合、

合格者数が募集人員を下回ることがあります。



入試実施時期	試験日	入試の名称	3人	2人	37人
9月	9/14(日) 9/15(月)	総合型選抜1期	3人	2人	37人
10月	10/12(日)	総合型選抜2期	3人	2人	12人
11月	11/14(金)	総合型選抜3期	3人	2人	14人
	11/15(土)	学校推薦型選抜(公募制)	5人	3人	22人
	11/16(日)	外国人留学生入試1期	3人	2人	9人
12月	12/14(日)	総合型選抜4期	3人	2人	8人
2026年 2月	2/3(火)	総合型選抜5期	3人	2人	8人
	2/4(水)	一般選抜1期	6人	3人	14人
		外国人留学生入試2期	3人	2人	4人
	2/27(金)	一般選抜2期	3人	2人	6人
3月	3/14(土)	総合型選抜6期	3人	2人	5人
		大学入学共通テスト利用入試1期	9人	6人	11人
		大学入学共通テスト利用入試2期			
		大学入学共通テスト利用入試3期			

芸術学部	デザイン学部				マンガ学部		
140人	274人				324人		
	74人	67人	77人	56人	128人	112人	84人
学科単位 で募集	コース単位 で募集	学科単位 で募集			コース単位 で募集		
造形学科	ビジュアル デザイン学科	イラスト学科	プロダクト デザイン学科	建築学科	マンガ学科	キャラクター デザイン学科※	アニメーション 学科
2年次から 専攻に所属	1年次から コースに所属	2年次から専攻に所属			1年次からコースに所属		
洋画専攻 日本画専攻 版画専攻 立体造形専攻 陶芸専攻 テキスタイル専攻 映像専攻	グラフィック デザインコース デジタル クリエイション コース	イラスト専攻 モーショ ンイラスト専攻	インダストリアル デザイン専攻 ライブ クリエイション専攻 ファッション デザイン専攻	建築専攻 人間環境 デザイン専攻	ストーリー マンガコース 新世代 マンガコース	キャラクター デザインコース	アニメーション コース
53人	30人	28人	29人	15人	71人	61人	46人
14人	6人	6人	8人	5人			
8人	4人	4人	4人	3人	7人	7人	5人
16人	6人	6人	9人	6人	9人	9人	8人
10人	6人	5人	6人	6人	12人	10人	8人
14人	6人	5人	8人	9人	6人	5人	5人
5人	4人	3人	4人	4人	6人	4人	4人
4人	2人	2人	3人	5人	2人	2人	2人

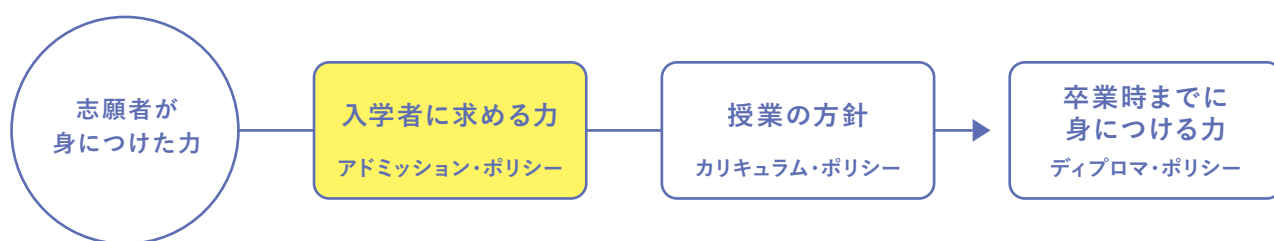
※設置届出予定

入学者に求める力

ここでは本学がどのような学生を求めているかについて説明します。
京都精華大学は人間を尊重し、人間を大切にすることを教育の基本とし、
学問・芸術によって人類社会に尽くそうとする自立した人間の形成を目的としています。
この教育理念をもとに3つのポリシーを定めています。

- 1つ目は、**学生が卒業時まで身に付ける力(ディプロマ・ポリシー)**、
- 2つ目は、**その力を身につけるための授業の方針(カリキュラム・ポリシー)**、
- 3つ目は、**その授業を受けるために入学者に求める力(アドミッション・ポリシー)**です。

入学試験は3つ目の入学者に求める力(アドミッション・ポリシー)を評価するためのものです。
本学では多様な学生を募集するために、志願者がこれまでに身につけた力を、学力、技能、意欲などの
様々な観点から評価する試験方式を設けています。



アドミッション・ポリシー3つの領域

本学のアドミッション・ポリシーは3つの領域を定めています。
それぞれの領域でどのような力を求めているか、具体的な内容を下記に示します。

領域1
知識・理解・技能

1. 高等学校の教育課程における基礎学力・技能を有している。
2. 入学後に発展可能な、作品制作に関する基礎知識・技能を有している。

2については、芸術学部・デザイン学部・マンガ学部の入学者が対象です。

領域2
思考・判断・表現

1. 身近な問題について、知識や情報をもとに筋道を立てて思考できる。
2. 他者の意見を理解し、自分の考えをわかりやすく表現できる。

領域3
関心・意欲・態度

1. 新しい領域や多様な人々に対して先入観なく向き合い、生涯にわたって学習を継続する意欲がある。
2. 学びたい学部・学科の知識や経験を社会で活かしたいという目的意識を持っている。

カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーの3つの領域については、大学Webサイトに掲載していますので確認してください。

教育の
3つの
方針



外国籍の方へ

ここでは外国籍(日本国籍を有していない)の方が出願できる入試種別について説明します。

● 出願できる入試種別

外国籍(日本国籍を有していない)の方が出願できる入試種別は、**出願時点の在留資格取得状況によって異なります。**

下の表に記した①～④のいずれに該当するかを確認してください。なお、出願資格と出願書類についてはP36-37に詳細を記載しています。

※出願時点において、日本国籍を有する重国籍者で外国人学生として入学を希望する方は、出願前に入学グループへ相談してください。

出願時点の在留資格取得状況

入試種別	① 有効な在留資格 「留学」を 有している方	② 在留資格を 有していない方	有効な「留学」以外の中長期滞在可能な 在留資格を有している方 <small>※入学に際する在留資格の変更予定の有無によって異なります。</small>	
			③ 「留学」への 変更予定あり	④ 「留学」への 変更予定なし
総合型選抜1期	出願できる	出願できる	出願できる	出願できる
総合型選抜2期	出願できる	出願できる	出願できる	出願できる
総合型選抜3期	出願できる	出願できる	出願できる	出願できる
学校推薦型選抜(公募制)	出願できない	出願できない	出願できない	出願できる
外国人留学生入試1期	出願できる	出願できる	出願できる	出願できない
総合型選抜4期	出願できる	出願できない	出願できる	出願できる
総合型選抜5期	出願できる	出願できない	出願できる	出願できる
一般選抜1期	出願できない	出願できない	出願できない	出願できる
外国人留学生入試2期	出願できる	出願できない	出願できる	出願できない
一般選抜2期	出願できる	出願できない	出願できる	出願できる
総合型選抜6期	出願できる	出願できない	出願できる	出願できる
大学入学共通テスト利用入試1・2・3期	出願できる	出願できない	出願できる	出願できる

※「国内学生」として在籍する方は、外国人留学生の各種補助制度が利用できない場合があります。

● 在留資格に関する手続

在留資格を有していない場合

本学では所定の期日までに入学手続を完了した日本国外在住者のうち、在留資格「留学」の取得を希望する方のために、本人に代わって出入国在留管理庁へ「在留資格認定証明書(COE)」の交付申請を行います。申請に必要な書類や手続などは、大学Webサイトで後日案内しますので、必要書類を期日までに提出してください。

在留資格を有している場合

日本国内の教育機関(日本語学校を含む)から本学への入学を希望する方で、入学試験合格時点において、すでに有効な在留資格「留学」を有している場合は、在留期間満了日に応じて「在留期間更新許可申請」を行ってください。詳しくは大学Webサイトで後日案内します。

在留資格「留学」以外を有している場合

日本で中長期滞在可能な在留資格(「留学」以外)を有している場合は、在留資格「留学」への変更義務はありませんが、外国人留学生対象の各種補助制度が利用できない場合があります。「短期滞在」および「特定活動(出国準備)」の在留資格を有している場合、原則として一度日本を出国し、在留資格認定証明書(COE)を申請する必要があります。「留学」以外の在留資格から「留学」への変更を希望する方は、出願前に入学グループへ相談してください。

● 経費の支弁能力について

外国人留学生(在留資格「留学」として在籍される方には、入学手続時に経費支弁能力を証明する書類を提出いただきます。詳細については、入学手続時に案内します。

総合型選抜とは？

総合型選抜は学科・コースごとに実施する個別プログラムの参加を通じて、志願者の知識、技能、態度などから総合的に評価し、合否を判定する入試です。

総合型選抜1期・2期は、**エントリー方式(エントリーと出願の2段階)**を採用しています。

エントリーから出願可否発表までは他大学との併願が可能です。**出願する際は本学を専願とする必要**があります。

● エントリー方式の流れ

1 志望学科・コースを選択

2 事前提出物 (自己推薦書等)の準備

3 エントリー

入学検定料 10,000円

学内併願時は+5,000円

他大学との併願可

4 受験票を印刷

5 受験

6 出願可否発表

7 出願 **専願**

入学検定料 20,000円

8 書類審査

9 合否発表

10 入学手続

総合型選抜1期

志望先は1日につき1つ、2日間で最大2つ志望できます。
ただし同じ学科・コースを2日連続で受験することはできません。志望先が1つの場合は、試験日を選択できます(試験内容は2日間とも同じ)。志望先が2つの場合は、それぞれの試験日を大学が指定します。

エントリーまでに自己推薦内容を考えてください。志望先が2つの場合は、それぞれの「自己推薦書」が必要です。

本学Webサイトでマイページを作成し、エントリーをしてください。この段階では、他大学との併願ができます。志望先が2つの場合、エントリー画面で志望順位を選択してください。「自己推薦書」をエントリー画面で入力します。エントリー時は出願書類(学歴証明書等)の提出は不要です。

マイページから受験票をダウンロードして印刷のうえ、試験当日に持参してください。志望先が2つの場合、それぞれの試験日を受験票で確認してください。

志望した学科・コースの個別プログラムに参加してください。持参用具を忘れないようにしましょう。

出願可否の結果はWeb(マイページ)で発表します。出願可となった場合は、出願するかどうかを決めることができます。出願からは専願入試になりますので、参加した個別プログラムを振り返って、出願するかどうかを決めてください。2つの志望先が出願可となった場合は、どちらかを選択してください。

この段階から専願入試になりますので、**本学への入学を確約できる方は出願してください。**

出願時に「学びの計画書」を出願画面で入力してください。また、入学検定料の納入と、出願書類(学歴証明書等)の提出を出願期間内に完了してください。

「学びの計画書」と出願書類(学歴証明書等)から合否を判定します。

合否結果はWeb(マイページ)で発表します。合格者には合格通知書をマイページで発行します。

入学手続締切日までに入学手続時納入金を納めることで、入学手続は完了します。

総合型選抜2期

総合型選抜2期では、**第1志望のみ選択**できます。
試験は1日のみ実施となります。

専願入試に関する留意事項

総合型選抜1期・2期では、エントリーの段階では他大学との併願が可能です。出願可となった方が出願する段階から本学への専願入試になります。本学への入学を確約できる場合に限り出願してください。また、専願入試で入学手続を完了した方は、以降の入試に出願することはできません。ただし、人文学部の入学試験合格者・入学手続完了者が、「人文学部入学試験成績優秀特待生」の奨学金受給を目的とする場合に限り、学校推薦型選抜(公募制)や一般選抜1期への再出願が認められます。この場合の志望先は、入学手続を予定している/完了した学科・コースと同一である必要があります。

総合型選抜3期～6期は、エントリー方式ではなく、他の入試と同じ出願方法です。
第1志望のみ出願できます。他大学との併願が可能です。

● 出願の流れ

1 志望学科・コースを選択

志望先は、第1志望のみ選択できます。試験は1日のみ実施となります。

2 自己推薦書の準備

出願期間までに自己推薦内容を考えてください。

3 出願

入学検定料 30,000円

本学Webサイトでマイページを作成し、出願登録をしてください。
志望先などを選択してください。「自己推薦書」を出願登録画面で入力します。
また、入学検定料の納入と、出願書類の提出を出願期間内に完了してください。

4 受験票を印刷

マイページから受験票をダウンロードして印刷のうえ、試験当日に備えてください。

5 受験

出願した試験科目を受験してください。

6 可否発表

可否結果はWeb(マイページ)で発表します。合格者には合格通知書をマイページで発行します。

7 入学手続

入学手続締切日までに入学手続時納入金を納めることで、入学手続は完了します。

総合型選抜3～6期

● 出題内容

1期・2期 学科・コースごとの個別プログラム

3期～6期 オンライン面接など

総合型選抜1期・2期の学科・コースごとの出題内容、試験に持参できる用具などの詳しい情報はP10～23に記載しています。

総合型選抜3期～6期の出題内容などの詳しい情報はP24～26に記載しています。

● 評価のポイント

総合型選抜の可否(1期・2期の場合は出願可否)は、評価のポイントに従って判定します。学科・コースのプログラムごとに評価するポイントが異なりますので、出題内容と合わせて確認してください。

総合型選抜1期・2期の学科・コースごとの評価のポイント情報はP10～23に記載しています。

総合型選抜1期(エントリー方式)



総合型選抜1期では志望先を選んでエントリーして、学科・コースごとに実施する個別プログラムに取り組んでもらいます。試験の結果と「自己推薦書」から総合的に評価して、出願可否を発表します。「出願可」を受けた方が出願へと進み、書類審査を経て最終的な可否を発表します。

● 試験方式

この入試では学科・コースごとに**個別プログラムを実施**します。

実施学部	試験方式	配点	出題内容	時間
人文学部 メディア表現学部 芸術学部 デザイン学部 マンガ学部	個別プログラム + 自己推薦書	250点 (200点 + 50点)	個別プログラムで与えられた課題に取り組む。実施内容、持参できる用具などについてはP11~17を確認してください。	P11~17の 時間割を 確認して ください。

● 出願書類

エントリー時

自己推薦書	エントリー時に自己推薦書の提出が必要です。あなたのこれまでの活動実績や制作実績、またその成果について、具体的な内容を800字程度(上限1200字)で記述してください。
試験時に 持参するもの	プロダクトデザイン学科、新世代マンガコース、キャラクターデザインコースでは、試験当日に持参するもの(資料、作品など)があります。詳しくは個別プログラムのページを確認してください。

出願時

学びの計画書	個別プログラムに参加して、あなたが学んだこと、気づいたこと、興味をもったことや、それをふまえて入学後にどのように学びたいかについて800字程度(上限1200字)で記述してください。
学歴証明書類	出身学校が発行した調査書、卒業見込証明書、卒業証明書いずれかの原本を1通提出してください。詳しくはP37の「出願書類」の該当項目を確認してください。
外国人留学生 の提出書類	外国人留学生の方は学歴証明書類に加えて提出が必要な書類があります。詳しくはP37の「出願書類」の該当項目を確認してください。

● 入学検定料

エントリー時

10,000円
学内併願時は+5,000円

出願時

20,000円

● 学内併願

この入試では第2志望まで学内併願することができます。その場合は試験日ごとに志望先の個別プログラムに参加してください。

● 試験日の選択

学内併願ができるように、一日完結型のプログラムを2日設けています。プログラム内容は両日とも同じです。エントリー時に試験日を選択してください。**第2志望まで学内併願する場合は試験日を選ばません。本学が志望先ごとの試験日を指定します。**

● 試験日程・会場

エントリー期間	受験票 印刷日	試験日	試験会場	出願可否 発表日	出願期間	可否発表日	入学手続 締切日
2025年 9/1(月) 0:00~ 9/4(木) 15:00	9/10(水) 12:00~	9/14(日) ----- 9/15(月)	京都 精華大学	9/25(木) 12:00	2025年 9/25(木) 12:00~ 10/6(月) 15:00	11/1(土) 12:00	11/7(金)

人文学部 人文学科 歴史コース/文学コース/社会コース
国際教養学科 国際文化コース/国際日本学コース

試験方式
体験授業



● 総合型選抜1期で求める人

- ・人間の思想や歴史、作品や社会、異文化や言語に興味があり、人文学的な視点や方法を学ぶことによって、より人間的でよりよい世界の実現をめざす人
- ・キャンパスの外に出てフィールド(国内、海外)に行き、体験・観察したり資料を採取したり、いろいろな人と対話をしながら、自分の世界を拡げたい人
- ・自分の好きなこと・気になることを出発点に、より広くより深く、未知の領域を新しい視点で探求したい人
- ・自分自身の意思をもった自由な自己表現をめざす人

● プログラム(取り組むこと)

レクチャー、メモ・レポート作成、面接

● テーマ・内容

人文学の可能性に触れる

人文学とは、よりよい人間の生き方をあれこれと考えながら発見し、よりよい世界のあり方を探し求める学問です。

この試験では、ひとつの具体的なテーマについて、複数の視点が織り込まれた人文学的なレクチャーを受けて、メモとレポートを作成します。

例えば、現在、鑑賞されている小説やマンガやアニメなどの作品には、人間の様々な要素が数多く織り込まれています。また、身近で起こっている出来事や文化あるいは遠くの国で起こっている出来事や文化には、世界の様々な要素が数多く織り込まれています。過去に流行したもののや、歴史的な出来事も同様です。それらの様々な要素を、教員が、歴史・文学・社会・国際文化・国際日本学の視点から解きほぐし、人文学的なレクチャーを展開します。そのレクチャーを受けながら、あなたの興味・関心にもとづくオリジナルのメモを作成して、それを基に自分の考えや意見をまとめ、800字程度のレポートを作成します。

また、レポート作成と並行して、面接を行います。面接では、コースへの志望動機やあなたがこれまで取り組んできたこと、入学後に大学で学びたいこと・やってみたいことなどを自分の言葉で説明します。

この授業では、一見すると「一つ」に見えるものが、実は「多数」の要素から成り立っていることや、逆に、バラバラに見える「多数」の事柄が、実は「一つ」にまとまっていることなど、人間や人間世界の不思議さを、人文学の視点や方法を使ったひとつのレクチャーから体験します。

「人文学ってどんな学問なんだろう」と思っている人や、人文学の可能性に触れてみたい人におすすめの内容です。

● 時間割

- 12:30 集合(本人確認・試験実施の説明)
- 13:00 レクチャー(メモ作成)
- 14:00 休憩
- 14:10 レポート作成・面接
- 16:10 まとめ
- 16:30 終了

● 評価のポイント

【整理する力】

〈メモ〉レクチャーの内容を整理し、理解した内容がメモとして上手くまとめられているか(メモは文章に限らず、図や記号などを用いても構わない)

【自己表現する力】

〈レポート・面接〉自分の考えや主張を適切に表現できているか

【興味・関心】

〈全体を通して〉自分の関心のある世界や領域だけではなく、自分がまだ知らない世界や領域についても、驚きをもって興味を示すことができるか

● 持参できる用具

- 黒芯の鉛筆またはシャープペンシル
- 鉛筆削り(電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可)
- 消しゴム(練り消しゴム含む)
- カッターナイフ(鉛筆を削るための使用に限る)
- その他メモやレポート作成に必要な筆記用具(定規、色鉛筆、蛍光ペンなどを含む)

● 支給物

メモ用紙、レポート作成用原稿用紙

人文学部は、**コース単位で募集**します。エントリー(出願)する際は、

志望するコース(歴史コース/文学コース/社会コース/国際文化コース/国際日本学コース)を選択してください。

メディア表現学部 メディア表現学科

メディアイノベーション専攻/メディアデザイン専攻/
メディアコミュニケーション専攻/音楽メディア専攻

試験方式
体験授業



● 総合型選抜1期で求める人

- ・ いままでにない新しい媒体、新しい表現方法を自ら生み出す人
- ・ 好奇心旺盛で、独創的かつ自由な発想をカタチにしたい人
- ・ 最新のテクノロジーを使った表現や、社会課題の解決を目指す人
- ・ アート、ビジネス、両方を理解し社会に影響を与えたい人
- ・ 広い視野を持ち、ねばり強く行動して突破できる人

● プログラム(取り組むこと)

レクチャー、企画制作

● テーマ・内容

メディアの概念と歴史を理解して、新しいメディアを考えてみよう

メディア表現学部では、理系文系芸術系という括りを超えて、最新のテクノロジーを活用し、社会に新しい価値を提供する、様々なメディアの企画・制作を行います。

この体験授業では、メディアの歴史を辿り、誕生した概念について理解を深めます。その上で様々なメディア表現や、メディアを通じたアプローチについて学び、実際に新しいメディアを企画制作します。

具体的には、レクチャーをふまえて新しいメディアを文章、ビジュアル、音声などで表現してもらいます。

● 時間割

10:00 集合 (本人確認・試験実施の説明)	13:00 企画制作
10:30 レクチャー	16:00 発表、講評
12:00 休憩	17:00 まとめ
	17:30 終了

● 評価のポイント

【情報理解力】

- ・ レクチャーの情報を整理できている
- ・ レクチャーの内容を反映して企画できている

【企画力】

- ・ 企画に客観性、論理性がある
- ・ 企画に独創性、新しさがある

【社会・メディアへの関心】

- ・ 社会課題をクリエイティブな方法で解決しようとしている
- ・ メディアの特性を捉えて適正な企画ができている

● 持参できる用具

- 黒芯の鉛筆またはシャープペンシル
- 鉛筆削り(電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可)
- 消しゴム(練り消しゴム含む)

● 支給物

上記の持参できる用具以外に試験に必要な用具・材料は支給します。

芸術学部 造形学科

洋画専攻/日本画専攻/版画専攻/立体造形専攻/
陶芸専攻/テキスタイル専攻/映像専攻

試験方式
体験授業



● 総合型選抜1期で求める人

- ・ 新しい領域や多様な表現に対して意欲的に取り組むことができる
- ・ 創作することに強い関心と興味を持つことができる
- ・ 教員とコミュニケーションをとることができる

● プログラム(取り組むこと)

制作、作品発表

● テーマ・内容

作る自分に出会うこと

モチーフを再構成し、デッサンする。

好奇心、探究心を発揮して、潜在的な創造力を引き出すことに挑戦します。

1. 与えられたモチーフを切る、貼るなどの加工を施し、再構成する。
2. 再構成したモチーフを鉛筆、コンテなどを使って描写する。
3. 制作した作品について制作意図を簡単に説明する。

モチーフの加工と描写を通して、あなたの感性と可能性を探りましょう。教員からのアドバイスを受けながら作品を創造する考え方を学びましょう。

完成した作品を介して自分の考えや感情を相手に伝えること、作品を鑑賞して相手を理解することを体験します。美術の経験がなくても意欲があれば積極的にチャレンジしてください。

● 時間割

10:00 集合(本人確認・試験実施の説明)
10:30 与えられたモチーフを切る、貼るなどの加工を施し、 再構成したものをクロッキーします。
12:30 休憩
13:30 再構成したモチーフを描写します。 (コンテの使い方-制作-完成-片付け)
16:15 作品発表・講評(出来上がった作品を見て、制作意図を説明します)
17:15 鑑賞
17:30 終了

● 評価のポイント

- ・ 新しい領域や多様な表現に対して意欲的に取り組んでいるか
- ・ 創作することに強い関心と興味を持つことができるか
- ・ 教員とコミュニケーションをとることができるか

● 持参できる用具

- 使い慣れたデッサン用具(なければHB~6Bの鉛筆を各数本)
- 鉛筆削り(電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可)
- 消しゴム(練り消しゴム含む)
- はさみ カッターナイフ
- メモを取るためのノート(事前にかいたスケッチ、メモなどは持ち込み不可)
- 体操着・作業着・エプロンなど汚れてもよい服装

● 支給物

上記の持参できる用具以外に試験に必要な用具・材料は支給します。

デザイン学部 ビジュアルデザイン学科
グラフィックデザインコース

試験方式
体験授業



● 総合型選抜1期で求める人

グラフィックデザインは、いろいろな可能性にあふれています。グラフィックデザインコースでは、身のまわりの世界をもっと美しくしたい、楽しくしたい、面白くしたい、心地良くしたいなど意欲あふれる多様な人が集まることを目標に掲げています。自分の美意識、感性を鍛えぬき、好奇心全開で世の中に存在する魅力ある種を発見し、さまざまな人や場所をワクワクさせるデザインを学びたい人を求めています。

● プログラム(取り組むこと)

レクチャー、制作、作品発表

● テーマ・内容

色彩構成力をレベルアップさせ、グラフィックデザインに触れる
「カラーグラフィック・バッグ」をデザインしよう!

グラフィックデザインとは、さまざまな図像と文字(ことば)を組み合わせ、素材に展開することで豊かな表現となり、人々の心に響くようデザインしていくプロセスをいいます。この授業では最初に、「セイカいろがみ」を用いた配色の考え方に関するレクチャーを受け、色彩構成作品を制作します。次にその作品をデジカメで撮影、パソコンにてタイトル文字と合わせてレイアウトした後、プリンターで出力し、トートバッグに転写します。色と形の組み合わせを楽しみながら、「造形(素材)→構成(デザイン)→展開(発信)」というグラフィックデザインのプロセスとエッセンスを学びます。

● 時間割

10:00 集合 (本人確認・試験実施の説明)	13:30 制作2
10:30 レクチャー	16:00 作品発表
11:30 制作1	17:00 まとめ
12:30 休憩	17:30 終了

● 評価のポイント

- ・ 作品
- ・ 制作姿勢
- ・ 教員とのコミュニケーション
- ・ 発表

これらを総合的に評価します。

● 持参できる用具

- 黒芯の鉛筆またはシャープペンシル
- 鉛筆削り(電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可)
- 消しゴム(練り消しゴム含む)
- カッターナイフ(鉛筆を削るための使用に限る)
- メモを取るためのノート(事前に書いたスケッチ、メモなどは持ち込み不可)
- 汚れてもよい動きやすい服装

● 支給物

「セイカいろがみ」、カッターナイフ、カッターマット、はさみ、定規(30cm)、アイロンプリントシート、トートバッグ

デザイン学部 ビジュアルデザイン学科
デジタルクリエイションコース

試験方式
体験授業



● 総合型選抜1期で求める人

- ・ ムービーやゲーム、デジタルアートなどのエンタテインメントの制作や発信を通じて社会を楽しんでいきたいと考えている人
- ・ 人と関わりグループで制作する事が好きな人
- ・ 分かりやすく魅力的に伝える為に工夫するのが好きな人
- ・ 計画的に物事を進めたり、自己管理ができる人
- ・ 日本語での円滑なプレゼンテーションを行える人

● プログラム(取り組むこと)

レクチャー、制作、プレゼンテーション

● テーマ・内容

メッセージスタンプをデザインしよう!

あなたの地元の特色と、あなたの個性を組み合わせたオリジナルキャラクターでメッセージスタンプをデザインし、その魅力をプレゼンテーションで伝えてもらいます。

1.オリジナルキャラクターのデザイン

地元のユニークな要素とあなたの個性を融合させ、世界に一つだけのキャラクターをデザインしましょう。このステップでは、想像力と創造性が重要です。

2.メッセージスタンプのデザイン

あなたが作ったキャラクターで、オリジナルのメッセージスタンプをデザインします。多様な表情やポーズでメッセージの幅を広げましょう。

3.プレゼンテーション

デザインしたメッセージスタンプの魅力を日本語で明確にプレゼンテーションしてください。

● 時間割

10:00 集合 (本人確認・試験実施の説明)	12:30 休憩
10:30 スタッフ、 本日のスケジュール紹介	13:30 スタンプ制作
10:45 スタンプ制作レクチャー	14:30 プレゼンテーション
11:00 スタンプ制作	17:15 まとめ
	17:30 終了

※受験者数によって時間割を変更する場合があります。

● 評価のポイント

- ・ 地元と自分の魅力を引き立てるアイデアになっているか
- ・ 視覚的に魅力的なデザインになっているか
- ・ 明確で簡潔なプレゼンテーションになっているか

● 持参できる用具

- 黒芯の鉛筆またはシャープペンシル
- 鉛筆削り(電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可)
- 消しゴム(練り消しゴム含む)
- カッターナイフ(鉛筆を削るための使用に限る)

● 支給物

色鉛筆(12色セット)、サインペン(黒)

デザイン学部 イラスト学科

イラスト専攻/モーションイラスト専攻

試験方式
体験授業



● 総合型選抜1期で求める人

イラスト学科には色々な人が集まります。「絵を描くことが好きな人」「デザインに興味がある人」「アニメーションや映像作品に興味がある人」「オシャレなものやカワイイものが好きな人」「流行に敏感な人」…。イラストの表現スタイルは多様です。自分らしさを意識して、楽しんで描いてください。

● プログラム(取り組むこと)

レクチャー、作品制作と作文、作品発表

● テーマ・内容

「ことばからのイラスト」

～与えられた「ことば」からイメージしてイラストを描こう！～

与えられた「ことば」から、自由にイメージを膨らませてイラストを描きます。イラストを完成後、制作意図を作文します。

- レクチャー:制作する前にポイントやアドバイスをします。
- 実制作:A4サイズの画用紙に描きます。(制作時間:2時間30分)
- 作文:原稿用紙に300字以内で書きます。(作文時間:20分)
- イラスト発表会:各自、仕上がったイラストを発表します。(発表時間:一人約1分/受験者数によって発表時間の変動あり)発表後、教員が講評します。

※作品制作、作文及び発表会では、スマートフォンやタブレットは使用できません。

● 時間割

- 10:00 集合(本人確認・試験実施の説明)
- 10:30 「ことばからのイラスト」レクチャー
- 10:45 「ことばからのイラスト」実制作開始
- 12:00 休憩 ※休憩時間に制作はできません。
- 13:00 「ことばからのイラスト」実制作
- 14:15 実制作終了
- 14:30 「制作意図・作文」開始
- 14:50 作文終了
- 15:00 「イラスト発表会」
- 17:30 終了

● 評価のポイント

描画力、想像力、構成力、取り組む姿勢

● 持参できる用具

- 各自が作品制作に使う画材(アクリルガッシュ、ポスターカラーなどの水溶性絵具、筆、筆洗、パレット、色鉛筆、サインペン、マーカーなど)
- 鉛筆やシャープペンシル
- 鉛筆削り(電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可)
- 消しゴム(練り消しゴム含む)
- カッターナイフ(鉛筆を削るための使用に限る)
- メモを取るためのノート
- 画板(カルトン)

● 支給物

上記の持参できる用具意外に試験に必要な用具・材料は支給します。

デザイン学部 プロダクトデザイン学科

インダストリアルデザイン専攻/
ライフクリエイション専攻/ファッションデザイン専攻

試験方式
体験授業



● 総合型選抜1期で求める人

生活に関わるモノ・コトに興味があり、自らのデザインで生活を豊かに、より良いものにしたいという希望を持っている人、また生活を楽しむことができる人です。総合型選抜1期では、そういった私たちの暮らしを考えること、家電や自動車、文具、家具、ファッションなどのプロダクトを企画することが好きな人を求めます。

● プログラム(取り組むこと)

レクチャー、プランニング、アイデアスケッチ、発表

● テーマ・内容

未来のプロダクトを考えよう!

自分の気になっているモノを持参し、参加者みんなに紹介しましょう。それらの中から選んだモノをモチーフとして、未来の暮らしを想像し、プロダクトを考えます。

体験授業では、「誰が、いつ、どんな場所で、どのように使うのか、身につけるのか」与えられたキーワードを条件として、様々な視点から未来の暮らしを想像(創造)します。あなたのデザインするプロダクトが、モノの魅力を最大限に引き出し際立たせることで人々の暮らしを豊かに変えていく、そうした楽しみを発見する授業です。

● 時間割

- | | |
|----------------------------|---------------------------|
| 10:00 集合
(本人確認・試験実施の説明) | 13:00 プランニングと
アイデアスケッチ |
| 10:30 自己紹介と
持参したモノの紹介 | 15:20 デザインをまとめる |
| 11:30 レクチャー | 16:00 発表・講評 |
| 12:00 休憩 | 17:30 終了 |

● 評価のポイント

- ・意欲的に取り組めたか
- ・持参したモノの紹介は適切にできたか
- ・人を幸せにする為のアイデアを、広くたくさん展開できたか
- ・自分の企画をわかりやすく伝えることができたか
- ・他者の意見・発表を聞く姿勢が持てたか

● 持参できる用具

- 黒芯の鉛筆またはシャープペンシル
- 鉛筆削り(電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可)
- 消しゴム(練り消しゴム含む)
- カッターナイフ(鉛筆を削るための使用に限る)

● 支給物

プランニングシート、用紙(A3ケント紙)、色鉛筆、サインペン、30cm定規、コンパス、その他に試験に必要な用具・材料は支給します。

● 試験時に持参するもの

- あなたの気になっているモノを1点持参してください。
(例えば、時計、筆箱、ワンピース、かばん、自動車、椅子など)
持ってくるのが困難なものは、写真をA4サイズ以上にプリントしたものを持参してください。※他の人が持参したモノに触れることがあります。

デザイン学部 建築学科

建築専攻/人間環境デザイン専攻

試験方式
体験授業



● 総合型選抜1期で求める人

建築デザイン、環境デザインに必要な視点は、身の周りの環境に興味を持ち、その場を使う人間の立場にたって、提案しようとする姿勢を持つことです。人々が生活する環境をより良くしたいと考える人を求めます。

● プログラム(取り組むこと)

レクチャー、調査、デザイン制作、発表

● テーマ・内容

小さな空間

大学敷地内にある学生のための施設(学生会館)には、様々な使われ方がなされる部屋があり、学生活動の中心となる交流のための場所です。多くの人と交流する学生会館の中に、1人で過ごす「小さな空間」を考えてみましょう。現地を観察し、その場所の特徴を活かしながら具体的にイメージしてデザインしてみます。

1人で行う行動、休む、寝る、食べる、飲む、読む、考える、書く、描く、つくる、遊ぶ...など、その場所で行われる行為を想定し、新しい場所について考えてみましょう。

● 時間割

10:00 集合 (本人確認・試験実施の説明)	14:00 各自アイデアの具体的な デザイン作業
10:30 レクチャー	16:00 各自アイデアの発表と 意見交換
11:00 現地の視察調査、 提案アイデア作成	17:00 まとめと振り返り
12:30 休憩	17:30 終了
13:30 各自アイデアの意見交換	

● 評価のポイント

- ・意欲的に取り組むことができたか
- ・新しいデザインを提案することができたか
- ・自分の提案内容をわかりやすく伝えることができたか
- ・他者の意見や提案を理解しようとする姿勢を持っていたか

● 持参できる用具

- 黒芯の鉛筆またはシャープペンシル
- 鉛筆削り(電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可)
- 消しゴム(練り消しゴム含む)
- カッターナイフ(鉛筆を削るための使用に限る)

● 支給物

スケッチ用紙、ケント紙

マンガ学部 マンガ学科

ストーリーマンガコース

試験方式
体験授業



● 総合型選抜1期で求める人

- ・オリジナルのストーリーを作りマンガを描きたい意欲のある人
- ・日本のマンガ文化に興味を持ち探究心がある人
- ・マンガを作るために必要なコミュニケーション能力があり、マンガで人を楽しませることが好きな人

● プログラム(取り組むこと)

レクチャー、マンガ制作

● テーマ・内容

教員から学ぶ【日本の出版マンガの基本とストーリー作り】

「教員からアドバイスを受けながら作品を制作する」形で、日本の出版マンガの基本とストーリー作りを学ぶ体験授業です。アイデア用紙に提示された「お題(作品テーマ)」に沿ってマンガを制作してください。

● 時間割

10:00 集合(本人確認・試験実施の説明)
10:30 授業説明、ネーム構成と見開き表現についてのレクチャー
12:00 ショートストーリーのアイデア出し、ネーム制作
12:30 休憩
13:30 ネームの制作
14:30 下絵の制作
17:30 ネームと下絵の提出・終了

● 評価のポイント

- ・マンガ制作へ臨む姿勢
- ・個別指導の受け止め方、アドバイスの活かし方などの本人の対応と制作意識(言語読解力を含める)
- ・制作した作品の内容(アイデア力・構成力・画力などを総合的に判断)

● 持参できる用具

- 黒芯の鉛筆またはシャープペンシル
- 鉛筆削り(電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可)
- 消しゴム(練り消しゴム含む)
- カッターナイフ(鉛筆を削るための使用に限る)

● 支給物

ネーム用紙、マンガ用原稿用紙(B4サイズ)、定規、アイデア用紙

マンガ学部 マンガ学科
新世代マンガコース

試験方式
体験授業



● 総合型選抜1期で求める人

- ・自分の描いたマンガで多くの人を楽しませたい、驚かせたい、ゾクゾクさせたい、笑顔にしたい、笑わせたい、深く考えて欲しいなど、読者に届けたい思いを持った人。
- ・SNSなどデジタルに対応できるマンガの描き方を学びたい人。
- ・いろいろな人とのコミュニケーションを通じて自分の視野を広げたいと思っている人

● プログラム(取り組むこと)

レクチャー、グループワーク、マンガ制作

● テーマ・内容

SNS向け短編マンガを描こう

インターネットの普及により、ちょっとした合間にスマートフォンを開いてSNSに投稿されている短いマンガを読む、というマンガの読まれ方が一般化しました。そんなSNSに向けた短編マンガを描くための、必要な知識と技術をレクチャーします。その後でグループに別れて与えられたキーワードからストーリーを発想するためのディスカッションを行い、その発想を基に4ページのマンガ作品を制作します。授業の後半では課題を回収して教員が作品の講評をします。同じキーワードでも人によって捉える視点が違うということ、SNSで多くの人々の心を捉えるには何が必要かを理解してもらおうがこの授業のねらいです。

● 時間割

10:00 集合 (本人確認・試験実施の説明)	13:00 ネーム制作① 14:30 休憩
10:30 レクチャー	14:40 ネーム制作②
11:15 グループワーク、 アイデア出し	16:20 休憩 16:30 講評
12:30 休憩	17:30 終了

● 評価のポイント

- 【基礎力】マンガの基本的な文法を理解しているか
- 【構成力】ストーリーが上手くまとめられているか
- 【画力】情報を適切に伝えるための画力を持っているか
- 【演出力】効果的なコマ割りで見せるべきところをしっかりと見せられているか
- 【グループワークでの評価】論理的思考力・協調性・自己表現力・積極性

● 持参できる用具

- ボールペン マーカー 鉛筆削り(電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可) カッターナイフ(鉛筆を削るための使用に限る)
- ※ノートの持ち込み不可

● 支給物

メモ・ラフ用紙(A4)、試験用作画用紙

● 試験時に持参するもの

- 黒芯の鉛筆またはシャープペンシル(水色芯も可)
- 消しゴム(練り消しゴム含む)
- 枠線を引くための直定規(三角定規も可)

マンガ学部 キャラクターデザイン学科
キャラクターデザインコース

試験方式
体験授業

● 総合型選抜1期で求める人

- ・絵を描くことが好きな人
- ・社会の様々な事に興味を持ち、それらをキャラクターやイラストを用いて表現したり、理解を深めることに意欲的な人
- ・日本語での円滑なコミュニケーションを取ろうと努力する人

● プログラム(取り組むこと)

プレゼンテーション、動画視聴、制作

● テーマ・内容

キャラクターデザインの学びを理解し、オリジナルキャラクターを描こう

午前の部(グループに分かれて小教室で実施):

持参作品を見せながら、自分が今までやってきたことを3分以内で同じ教室のメンバーと担当教員に発表してください。時間に余裕があれば作品を見せ合うなどグループディスカッションを実施する事もあります。(持参作品の詳細は右「●試験時に持参するもの」を確認ください)。

午後の部(大教室で実施):

コース紹介動画を視聴した後、絵を描く課題に取り組みます。キーワードや画像資料を手がかりに、テーマに従い、どのようなキャラクターなのか考えながら、ラフや構想を描いたり、異なる構図ラフを3案以上描いてください(構図の違いがわかる程度の簡潔なもので可)。その後、構図ラフの中から1案を選んで、キャラクターの全身が入る背景付きのイラストをカラーで仕上げてください(A4サイズ1枚)。合わせて、キーワードがどのようにキャラクターデザインに反映されているか、作品を作る時の考えやこだわりについて、アンケート式の解答用紙に自分の考えをまとめてください。

● 時間割

10:00 集合(本人確認・試験実施の説明)
10:30 午前の部:プレゼンテーション
12:30 休憩
13:30 午後の部: 午後の部の会場で再集合、コース紹介動画の視聴
14:00 午後の部:課題制作
17:30 終了

● 評価のポイント

- ・画力、構成力、発想力
- ・様々な事に興味を持ってチャレンジしているか
- ・自分が作品を作るときの考えやこだわりについて、言葉(口頭・文書)を通じて伝えられるか
- ・コースの教育目的「キャラクターの見た目と中身を両方デザインする」、「よく観察して楽しんで描く」、「常に新しいものを取り入れ、常識にとらわれない」を理解して実践したか

マンガ学部 アニメーション学科 アニメーションコース

試験方式 体験授業



● 持参できる用具

- 鉛筆
- シャープペンシル
- 鉛筆削り(電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可、鉛筆使用者のみ)
- 消しゴム(練り消しゴム含む)
- 着彩用具(色鉛筆、水彩絵具、アクリル絵具、パステル、マーカー、筆、筆洗、パレット等)
- 直線定規
- ※特殊定規、カッターナイフ、カラーチャート、クリップボード・カルトン、ノート、メモの持参は不可。

● 支給物

課題プリント、作画用紙、ドラフト用紙(下書き用紙)、アンケート式解答用紙など

● 試験時に持参するもの

午前での部では、自分の作品を持参して紹介する口頭発表があるため、以下のものを準備してください。

【持参が必須の作品】

- アナログ平面作品1枚(現物A4サイズ以上)
- デジタルツールで制作した作品1枚(A4サイズにプリントアウト)必ず両方持参してください。

【任意で持参する作品】

- ポートフォリオ(作品ファイル)
- イラスト、デッサン、クロッキー、スケッチ、アニメーション、立体物の写真など自身で制作したものなら何でも可(任意で持参する作品の発表時に限り、タブレット・スマートフォンの使用可)。

【注意点】

持参する作品に使用するアナログ画材、デジタルツールともに自由ですが、AI作画によるものは禁止します。また、当日必須の持参物2枚がない場合、参加することは可能ですが、減点となります。ご注意ください。

● 総合型選抜1期で求める人

映像を通してメッセージを送りたい、絵を動かす喜びを味わいたい人。アニメーターには演出家としての側面もあり、画力だけでなく演出力も必要のため、キャラクター作り(外見だけではなく内面も含む)が好きな人を求めます。

● プログラム(取り組むこと)

レクチャー、制作、面接

● テーマ・内容

アニメーション制作の基礎となる発想力を活かし、イメージをイラストにしよう

最初にアニメーション作品制作に必要な「動き」についてのレクチャーを受けます。次にそれをふまえて、「発想力と表現力」に重点をおいた課題作成ワークショップを行います。与えられたテーマ(簡単な言葉)から自由に発想し、あなたのアイデアや世界観をイラストとして表現します。

この課題制作では、どれだけの発想力を持ち、それを絵で表現できるかを評価します。制作した作品について、教員のアドバイスや意見を聞いたりする機会もあります。自分自身がわくわくするようなイラストを描いて、将来2D、3D、ストップモーションなどのアニメーション映像を作るうえで必要となる基礎をしっかり学びましょう。

また、ワークショップと並行して、グループ面接を行います。面接では、「学ぶ意欲」などについてお聞きします。

● 時間割

10:00 集合 (本人確認・試験実施の説明)	13:00 ワークショップ 「イメージ表現作成」、グループ面接
10:30 レクチャー 「アニメーション表現について」	17:00 まとめ 17:30 終了
12:00 休憩	

● 評価のポイント

- ・独自の発想やアイデアをもとに、人をアツと言わせるような着想で課題制作に取り組んだか
- ・積極的にワークショップ、面接に参加することができたか、コミュニケーション力を発揮することができたか
- ・与えられたテーマを有効に活かした発想で課題を制作したか
- ・見る人に制作の意図が伝わるような表現ができたか

● 持参できる用具

- 黒芯の鉛筆またはシャープペンシル
- 鉛筆削り(電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可)
- 消しゴム(練り消しゴム含む)
- カッターナイフ(鉛筆を削るための使用に限る)
- 着彩用具(色鉛筆、水彩絵具、アクリル絵具、パステル、マーカー、筆、筆洗、パレットなど)

※ 事前に作成した発想ノートやメモ類、色見本の持参は不可。

● 支給物

画用紙(A3)、下書き用紙

総合型選抜2期(エントリー方式)



総合型選抜2期では志望先を選んでエントリーして、学科・コースごとに実施する個別プログラムに取り組んでもらいます。試験の結果と「自己推薦書」から総合的に評価して、出願可否を発表します。「出願可」を受けた方が出願へと進み、書類審査を経て最終的な可否を発表します。

● 試験方式

この入試では学科・コースごとに**個別プログラムを実施**します。

実施学部	試験方式	配点	出題内容	時間
人文学部 メディア表現学部 芸術学部 デザイン学部	個別プログラム + 自己推薦書	250点 (200点 + 50点)	個別プログラムで与えられた課題に取り組む。 実施内容、持参できる用具などについては P19~23を確認してください。	P19~23の 時間割を 確認して ください。

● 出願書類

エントリー時

自己推薦書	エントリー時に自己推薦書の提出が必要です。あなたのこれまでの活動実績や制作実績、またその成果について、具体的な内容を800字程度(上限1200字)で記述してください。
事前課題	グラフィックデザインコース、デジタルクリエイションコースでは、自己推薦書の他に事前課題の提出が必要です。詳しくは個別プログラムのページを確認してください。※定められた期日までに事前課題を提出しない場合は、エントリーを受け付けません
試験時に持参するもの	メディア表現学科、グラフィックデザインコース、イラスト学科では、試験当日に持参するもの(資料、作品など)があります。詳しくは個別プログラムのページを確認してください。

出願時

学びの計画書	個別プログラムに参加して、あなたが学んだこと、気づいたこと、興味を持ったことや、それをふまえて入学後にどのように学びたいかについて800字程度(上限1200字)で記述してください。
学歴証明書類	出身学校が発行した調査書、卒業見込証明書、卒業証明書いずれかの原本を1通提出してください。詳しくはP37の「出願書類」の該当項目を確認してください。
外国人留学生の提出書類	外国人留学生の方は学歴証明書類に加えて提出が必要な書類があります。詳しくはP37の「出願書類」の該当項目を確認してください。

● 入学検定料

エントリー時

10,000円

出願時

20,000円

● 学内併願

この入試では学内併願することはできません。

● 試験日程・会場

エントリー期間	受験票印刷日	試験日	試験会場	出願可否発表日	出願期間	可否発表日	入学手続締切日
2025年 9/25(木) 0:00~ 9/29(月) 15:00	10/8(水) 12:00~	10/12(日)	京都 精華大学	10/17(金) 12:00	2025年 10/17(金) 12:00~ 10/22(水) 15:00	11/1(土) 12:00	11/7(金)

人文学部 人文学科 歴史コース／文学コース／社会コース

国際教養学科 国際日本学コース／国際文化コース

試験方式
体験授業

● 総合型選抜2期で求める人

- ・人間の思想や歴史、作品や社会、異文化や言語に興味があり、人文学的な視点や方法を学ぶことによって、より人間的でよりよい世界の実現をめざす人
- ・キャンパスの外に出てフィールド(国内、海外)に行き、体験・観察したり資料を採取したり、いろいろな人と対話をしながら、自分の世界を広げたい人
- ・自分の好きなこと・気になることを出発点に、より広くより深く、未知の領域を新しい視点で探求したい人
- ・自分自身の意思をもった自由な自己表現をめざす人

● プログラム(取り組むこと)

レクチャー、メモ・レポート作成、面接

● テーマ・内容

人文学の可能性に触れる

人文学とは、よりよい人間の生き方をあれこれと考えながら発見し、よりよい世界のあり方を探し求める学問です。

この試験では、ひとつの具体的なテーマについて、複数の視点が織り込まれた人文学的なレクチャーを受けて、メモとレポートを作成します。

例えば、現在、鑑賞されている小説やマンガやアニメなどの作品には、人間の様々な要素が数多く織り込まれています。また、身近で起こっている出来事や文化あるいは遠くの国で起こっている出来事や文化には、世界の様々な要素が数多く織り込まれています。過去に流行したものや、歴史的な出来事も同様です。それらの様々な要素を、教員が、歴史・文学・社会・国際文化・国際日本学の視点から解きほぐし、人文学的なレクチャーを展開します。そのレクチャーを受けながら、あなたの興味・関心にもとづくオリジナルのメモを作成して、それを基に自分の考えや意見をまとめ、800字程度のレポートを作成します。

また、レポート作成と並行して、面接を行います。面接では、コースへの志望動機やあなたがこれまで取り組んできたこと、入学後に大学で学びたいこと・やってみたいことなどを自分の言葉で説明します。

この授業では、一見すると「一つ」に見えるものが、実は「多数」の要素から成り立っていることや、逆に、バラバラに見える「多数」の事柄が、実は「一つ」にまとまっていることなど、人間や人間世界の不思議さを、人文学の視点や方法を使ったひとつのレクチャーから体験します。

「人文学ってどんな学問なんだろう」と思っている人や、人文学の可能性に触れてみたい人におすすめの内容です。

● 時間割

- 12:30 集合(本人確認・試験実施の説明)
- 13:00 レクチャー(メモ作成)
- 14:00 休憩
- 14:10 レポート作成・面接
- 16:10 まとめ
- 16:30 終了

● 評価のポイント

【整理する力】

〈メモ〉レクチャーの内容を整理し、理解した内容がメモとして上手くまとめられているか(メモは文章に限らず、図や記号などを用いても構わない)

【自己表現する力】

〈レポート・面接〉自分の考えや主張を適切に表現できているか

【興味・関心】

〈全体を通して〉自分の関心のある世界や領域だけではなく、自分がまだ知らない世界や領域についても、驚きをもって興味を示すことができるか

● 持参できる用具

- 黒芯の鉛筆またはシャープペンシル
- 鉛筆削り(電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可)
- 消しゴム(練り消しゴム含む)
- カッターナイフ(鉛筆を削るための使用に限る)
- その他メモやレポート作成に必要な筆記用具(定規、色鉛筆、蛍光ペンなどを含む)

● 支給物

メモ用紙、レポート作成用原稿用紙

人文学部は、**コース単位で募集**します。エントリー(出願)する際は、

志望するコース(歴史コース／文学コース／社会コース／国際文化コース／国際日本学コース)を選択してください。

メディア表現学部 メディア表現学科

メディアイノベーション専攻/メディアデザイン専攻/
メディアコミュニケーション専攻/音楽メディア専攻

試験方式

プレゼンテーション

● 総合型選抜2期で求める人

- ・ いままでない新しい媒体、新しい表現方法を自ら生み出す人
- ・ 好奇心旺盛で、独創的かつ自由な発想をカタチにしたい人
- ・ 最新のテクノロジーを使った表現や、社会課題の解決を目指す人
- ・ アート、ビジネス、両方を理解し社会に影響を与えたい人
- ・ 広い視野を持ち、ねばり強く行動して突破できる人

● プログラム(取り組むこと)

プレゼンテーション、面接

● テーマ・内容

プレゼンテーションと面接

1. プレゼンテーション

映像作品、音楽作品、プログラム作品、広告案やイベントの企画案、のいずれか一点についてプレゼンテーションを行ってください。あなたの作品や企画の独自性や制作意図についてアピールしてください。

2. 面接

プレゼンテーションの後は、質疑応答の時間が設けられます。あなたの作品や企画をより深く掘り下げ、理解を深める貴重な機会です。質問に対しては、あなたの作品や企画に対する制作意図を明確に、かつ具体的に答えてください。

● 時間割

12:30 集合(本人確認・試験実施の説明)

13:00 実物の作品1点または企画1点のプレゼンテーション(10分)と
面接(10分)(順次開始) 合計1人 20分程度

プレゼンテーション・面接が終了次第、帰宅してください。

※ 集合時間は受験者数によって変更する場合があります。

● 評価のポイント

- ・ 作品のこだわりや独自性、制作意図
- ・ 自分の考えを的確かつ意図的に伝えているか
- ・ 教員とのコミュニケーション力

● 持参できる用具

- 黒芯の鉛筆またはシャープペンシル
- 鉛筆削り(電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可)
- 消しゴム

● 支給物

大学側では次のものを用意します。

- ・ モニターディスプレイと付属HDMIケーブル(両端ともオス端子)
- ・ スピーカーと付属ステレオミニプラグケーブル(両端ともオス端子)

※ 大学内インターネット環境の利用は不可。

※ 大学貸与機器へのBluetooth接続などの無線接続は不可(有線接続のみ)。

● 試験時に持参するもの

- プレゼンテーションに用いる実物の作品1点または企画1点
 - ・ ノートPCやタブレット、スマートフォンに作品または企画を保存して持参してください。
 - ・ 持参する機器のポートの種類により、HDMIケーブルまたはステレオミニプラグケーブルに接続するための変換アダプターが必要であれば、それもあわせて持参してください。
 - ・ 広告やイベントの企画を提示する場合は、電子データに代えて、紙の企画書やプレゼンテーションボードを持参することもできます。

芸術学部 造形学科

洋画専攻/日本画専攻/版画専攻/立体造形専攻/
陶芸専攻/テキスタイル専攻/映像専攻

試験方式

体験授業

● 総合型選抜2期で求める人

- ・ 多様な芸術表現に興味、関心が持てる人
- ・ 課題に対して真摯に向き合い、熱意をもって取り組むことができる人
- ・ 他者とコミュニケーションがとれる人

● プログラム(取り組むこと)

制作、発表

● テーマ・内容

描く自分に出会うこと

鉛筆デッサンの体験授業です。用意された様々なモチーフの中から各自好きなものを1つだけ選んで、じっくり時間をかけて描きます。デッサンにおいて、形を正確にとらえることは大事なことでありますが、この授業では、むしろ質感や存在感を表現することを大切にします。そのため、不定形物をモチーフに用意します。モチーフの細部までしっかり描き切る事を目標にしてください。選んだモチーフへの興味を動機として、描き進める楽しさ、描き切ったという達成感を体験できるような授業を用意しています。

● 時間割

12:30 集合(本人確認・試験実施の説明)

13:00 課題説明、各自モチーフ選び、選んだモチーフのクロッキー

14:00 デッサン

16:00 作品発表・講評

(モチーフを選んだ理由、描きながら考えたこと。教員からの作品評など)
鑑賞

17:30 終了

● 評価のポイント

- ・ 描くことに集中することができるか
- ・ 教員とコミュニケーションがとれたか
- ・ 観察力が感じられるか
- ・ 質感や存在感を表現する努力がみられるか

● 持参できる用具

- 使い慣れたデッサン用具(なければHB~6Bの鉛筆を各数本)
- 鉛筆削り(電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可)
- 消しゴム(練り消しゴム含む)
- カッターナイフ
- メモを取るためのノート(事前に書いたスケッチ、メモなどは持ち込み不可)
- 体操着・作業着・エプロンなど汚れてもよい服装

● 支給物

モチーフ(各種)、画用紙、コピー用紙(クロッキー用)

その他、上記の持参できる用具以外に試験に必要な用具・材料は支給します。

デザイン学部 ビジュアルデザイン学科 グラフィックデザインコース

試験方式

ポートフォリオ・面接

● 総合型選抜2期で求める人

グラフィックデザインは、いろいろな可能性にあふれています。グラフィックデザインコースでは、身のまわりの世界をもっと美しくしたい、楽しみたい、面白くしたい、心地良くしたいなど意欲あふれる多様な人が集まることを目標に掲げています。自分の美意識、感性を鍛えぬぎ、好奇心全開で世の中に存在する魅力ある種を発見し、さまざまな人や場所をワクワクさせるデザインを学びたい人を求めています。

● プログラム(取り組むこと)

ポートフォリオ、作品プレゼンテーション、面接

● テーマ・内容

ポートフォリオのプレゼンテーションと作品面接

グラフィックデザインには、さまざまな制作、表現、可能性が存在しています。その萌芽として、日々すでに精力的に制作に励んでいる方を求めています。その足跡、成果をポートフォリオにまとめてください。面接では実物の作品1点を説明するプレゼンテーションを行ってまいります。あなたの成果と作品の魅力のアピールしてください。

エントリー時に提出してもらおうポートフォリオについては、以下の内容を参考にしてください。

- ・ デッサン:鉛筆デッサン、木炭デッサンなど
- ・ 鉛筆描画:スケッチ、クロッキー、ドローイングなど
- ・ 色彩構成:水彩画、油絵、版画など
- ・ ビジュアルデザイン表現:ポスター、写真、ロゴデザイン、タイポグラフィ、パッケージなど
- ・ イラストレーション:オリジナルキャラクター、マンガ、フィギュアなど
- ・ 立体造形:彫刻、陶芸などを写真に撮ったもの
- ・ CG作品:映像作品などを画像化したもの
- ・ その他:グループ制作などの資料、創作文など

● 時間割

12:30 集合(本人確認・試験実施の説明)

13:00 実物の作品1点のプレゼンテーションと面接(順次開始)

プレゼンテーション・面接が終了次第、帰宅してください。

※プレゼンテーションと面接は、あわせて15分から20分程度です。

※集合時刻や面接形式は、受験者数によって変更する場合があります。

● 評価のポイント

- ・ ポートフォリオ/実作品の熱意、制作意欲、こだわり
 - ・ 伝える姿勢
 - ・ 教員とのコミュニケーション
- これらを総合的に評価します。

● 持参できる用具

- 実物の作品をデータで見せる場合のノートPCまたはタブレット
- 黒芯の鉛筆またはシャープペンシル
- 鉛筆削り(電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可)
- 消しゴム(練り消しゴム含む)

● 試験時に持参するもの

実物の作品 1点のみ(形式は問いません)

● 事前課題(エントリー時)

エントリー時に「ポートフォリオ」の提出をお願いします。

ポートフォリオの提出様式は、以下の通りとします。

・A4サイズ30ページ以上(表紙を除く)として、

ポートフォリオの表紙に氏名を明記してください。

※ 製本は行わず既製品のクリアファイルを使用してください。

【提出期限】2025年9月29日(月)消印有効

(海外から送付する方は9月29日に本学必着)

【提出方法】本学指定の「宛名ラベル」を使用し、簡易書留・速達郵便にて入学グループ宛に送付してください。「宛名ラベル」は、エントリー完了時に「マイページ」でダウンロードして、印刷することができます。

デザイン学部 ビジュアルデザイン学科
デジタルクリエイションコース

試験方式
ポートフォリオ・面接

● 総合型選抜2期で求める人

- ・ ムービーやゲーム、デジタルアートなどのエンタテインメントの制作や発信を通じて社会を楽しんでいきたいと考えている人
- ・ 主体的に作品を制作し、社会にアウトプットしている人
- ・ 分かりやすく魅力的に伝える為に工夫するのが好きな人
- ・ 計画的に物事を進めたり、自己管理ができる人
- ・ 日本語での円滑なプレゼンテーションを行える人

● プログラム(取り組むこと)

デジタルポートフォリオ、プレゼンテーション、面接

● テーマ・内容

プレゼンテーションと面接

1. プレゼンテーション

この入試では、志願者自身の作品をポートフォリオ作成サービスを使用してまとめたものを「デジタルポートフォリオ」と定義します。

このデジタルポートフォリオを基に、あなたの作品や活動についてプレゼンテーションを行ってください。プレゼンテーションでは、あなたの作品の独自性や制作意図、達成した成果をわかりやすくまとめ、あなたの個性と情熱が伝わる内容を自信を持って発表してください。

2. 面接

プレゼンテーションの後は、質疑応答の時間が設けられます。このセッションは、あなたの作品や考え方をより深く掘り下げ、理解を深める貴重な機会です。質問に対しては、あなたの作品に対する制作意図を明確に、かつ具体的に答えてください。

● 時間割

12:30 集合(本人確認・試験実施の説明)

13:00 プレゼンテーションと面接(順次開始)

プレゼンテーション・面接が終了次第、帰宅してください。

※集合時刻や面接形式は、受験者数によって変更する場合があります。

※面接は作品のプレゼンテーションと面接をあわせて20分から30分程度です。

● 評価のポイント

- ・ 作品のこだわりや特徴、制作意図
- ・ 自分の考えや活動内容を的確に分かりやすく伝えられているか
- ・ 「デジタルポートフォリオ」を効果的に活用しているか

● 持参できる用具

- 黒芯の鉛筆またはシャープペンシル
- 鉛筆削り(電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可)
- 消しゴム(練り消しゴム含む)

● 支給物

プレゼンテーション用のPCと出力用モニター、インターネット環境は本学が用意します。

● 事前課題(エントリー時)

志願者本人が作成した作品を既存のポートフォリオサービスを使って「デジタルポートフォリオ」にまとめて提出してください。作品の形式は問いません。※グループで制作した作品は自分の役割を明記してください。

【提出期限】2025年9月29日(月)15:00

【提出方法】エントリー時に入力フォームが表示されますので、入力欄にデジタルポートフォリオのURL 情報を入力してください。入力できるURL 情報は1つだけです。 入力例: <https://www.digitalportfolio.com>

デザイン学部 イラスト学科
イラスト専攻/モーションイラスト専攻

試験方式
ポートフォリオ・面接

● 総合型選抜2期で求める人

イラスト学科には色々な人が集まります。「絵を描くことが好きな人」「デザインに興味がある人」「アニメーションや映像作品に興味がある人」「オシャレなものやカワイイものが好きな人」「流行に敏感な人」…。イラストの表現スタイルは多様です。自分らしさを意識して、アナログやデジタルにかかわらず描くのが好きな人を求めています。

● プログラム(取り組むこと)

自己紹介、作品説明、面接

● テーマ・内容

～ふだんの作品をアピールしよう!～

作品を見ながら面接を実施します。

- ・ 作品点数:ふだん制作している作品など、5点以上
- ・ 作品の形式・サイズは問いません
- ・ 面接は作品のアピールと面接を合わせて10分程度です

● 時間割

12:30 集合(本人確認・試験実施の説明)

13:00 面接(順次開始)

面接が終了次第、帰宅してください。

※集合時刻は受験者数によって変更する場合があります。

● 評価のポイント

- ・ 意欲
- ・ 作品のクオリティ
- ・ コミュニケーション力

● 持参できる用具

作品をデータで見せる場合

ノートPCまたはタブレット

※試験ではインターネットは利用できません。

作品データは持参するノートPCなどに保存してください。

● 試験時に持参するもの

ふだん制作している作品など、5点以上を持参すること。
形式・サイズは問いません。

デザイン学部 プロダクトデザイン学科

インダストリアルデザイン専攻/
ライフクリエイション専攻/ファッションデザイン専攻

試験方式

体験授業

● 総合型選抜2期で求める人

生活に関わるモノ・コトに興味があり、自らのデザインで生活を豊かに、より良いものになりたいという希望を持っている人、また生活を楽しむことができる人です。

総合型選抜2期では、そういった私たちの暮らしを考え、手を動かしてモノを作ることが好きな人を求めます。

● プログラム(取り組むこと)

レクチャー、プランニング、アイデアスケッチ、制作、発表

● テーマ・内容

未来のプロダクトをつくろう!

与えられたモチーフを未来のプロダクトにデザインし、紙を使ってモデルの制作をします。体験授業では、「誰が、いつ、どんな場所で、どのように使うのか、身につけるか」未来の暮らしを想像(創造)し、自分のアイデアを実際のサイズで形にしていきます。また、その制作意図を文章で表現し、考えをまとめます。あなたのデザインするプロダクトが、モノの魅力を最大限に引き出し際立たせることで人々の暮らしを豊かに変えていく、そうしたカタチを生み出す授業です。

● 時間割

12:30 集合 (本人確認・試験実施の説明)	14:00 制作 16:30 発表・講評
13:00 自己紹介とレクチャー	17:30 終了
13:30 プランニング(作文)と アイデアスケッチ	

● 評価のポイント

- ・意欲的に取り組めたか
- ・人を幸せにする為のアイデアを、広くたくさん展開できたか
- ・自分のデザインをわかりやすくカタチにすることができたか
- ・他者の意見・発表を聞く姿勢が持てたか

● 持参できる用具

- 黒芯の鉛筆またはシャープペンシル
- 鉛筆削り(電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可)
- 消しゴム(練り消しゴム含む)
- カッターナイフ(鉛筆を削るための使用に限る)

● 支給物

用紙、小型カッターナイフ、ハサミ、カッターマット、30cm定規、セロテープ、スティックのり、ホッチキス、その他に試験に必要な用具・材料は支給します。

デザイン学部 建築学科

建築専攻/人間環境デザイン専攻

試験方式

体験授業

● 総合型選抜2期で求める人

建築デザイン、環境デザインに必要な視点は、身の周りの環境に興味を持ち、その場を使う人間の立場にたって、提案しようとする姿勢を持つことです。人々が生活する環境をより良くしたいと考える人を求めます。

● プログラム(取り組むこと)

レクチャー、レポート、発表、面談

● テーマ・内容

家

すべての人には、寝る場所や休息する場所、食事をする場所、身体を整える場所が必要です。「家」とは、どのような意味(物理的意味、精神的意味)を持っているのでしょうか。

HouseとHome、何が違うのでしょうか。

自分は、どのような場所で、どのような特長を持つ「家」に住んでみたいか、考えてみましょう。

● 時間割

12:30 集合 (本人確認・試験実施の説明)	14:45 発表・意見交換 15:30 レポート作成、面談
13:00 レクチャー	17:00 まとめと振り返り
14:00 各自の意見作成	17:30 終了
14:30 休憩	

● 評価のポイント

- ・意欲的に取り組むことができたか
- ・レクチャーの内容を参考にしながら自分の意見を持つことができたか
- ・自分の意見をわかりやすく伝えることができたか
- ・他者の意見を理解しようとする姿勢を持っていたか

● 持参できる用具

- 黒芯の鉛筆またはシャープペンシル
- 鉛筆削り(電動式・大型のもの・ハンドル付きのものは不可)
- 消しゴム(練り消しゴム含む)
- カッターナイフ(鉛筆を削るための使用に限る)

● 支給物

スケッチ用紙、原稿用紙

総合型選抜3期～6期

総合型選抜3期～6期の入試はP24～26の通りです。

試験結果と「自己推薦書」から総合的に評価して、可否を判定します。これらの入試はエントリー方式ではありません。

また、専願入試ではありませんので、他大学と併願することができます。なお、学内併願することはできません。

総合型選抜3期～6期の詳細は、2025年7月以降に発行される『入学試験要項』を必ず確認してください。

総合型選抜3期

人文

メディア
表現

芸術

デザイン

マンガ

● 試験方式

実施学部	試験方式・試験科目	配点	出題内容	時間
人文学部 メディア表現学部 芸術学部 デザイン学部 マンガ学部	オンライン面接	面接 200点	録画方式のオンライン面接により、将来の目標や本学で学びたいこと、これまでの活動や経験などについての複数の質問に対して、回答を録画してください。複数の質問にはそれぞれ制限時間があります。自己アピールのために、これまでの活動の写真、制作物、書類などを提示することができます。所要時間は受験票の提示や、録画した回答の確認などを含め、30分～60分程度です。 芸術学部、デザイン学部、マンガ学部では、これまでに制作した作品の提示を求める質問があります。	試験当日 11:00～ 13:00の間に 受験を完了 させること
		自己推薦書 50点	あなたのこれまでの活動実績や制作実績、またその成果について、具体的な内容を800字程度(上限1200字)で記述してください。	インターネット 出願時に 入力(提出) すること

※オンライン試験の流れや事前の準備などについてはP27を参照

● 試験日程・会場

出願期間	受験票印刷日	試験日	試験会場	可否発表日	入学手続締切日
2025年 国内学生 11/1(土) 0:00～11/6(木) 15:00 外国人留学生 10/1(水) 0:00～10/10(金) 15:00	11/12(水) 12:00～	11/14(金)	オンライン	12/1(月) 12:00	12/12(金)

オンライン面接について

● 自己アピールのための資料

オンライン面接では、自己アピールのために、これまでの活動の写真、作品、資料などを提示して回答することができます。提示する資料などは、カメラで写せるものであれば、映像や立体物などの形式は問いません。ただし、画面の共有やデータファイルの送信はできません。芸術学部・デザイン学部・マンガ学部では、あなたがこれまでに制作した作品の提示を求める質問があります。提示する作品の形式は問いませんが、カメラに映せるものに限りません。動画作品の場合は再生のための機器を準備し、再生映像をカメラに映してください。オンライン面接時に画面の共有やファイルの送信はできませんので、事前にポートフォリオにまとめるなどして、オンライン面接時に提示できるように準備しておいてください。提示する作品、ポートフォリオなどは、志願者本人が作成したものに限りません。AI、トレース、模写などによって作成した場合は、作品のどの部分に使用したかについて、回答時に必ず説明してください。

● 評価のポイント

オンライン面接での回答および自己推薦書を通じて、意欲、主体性、思考力、表現力を総合的に評価し、可否を判定します。志望する学部・学科・コースの学びの内容について意欲や関心があるか、本学について理解しているか、大学入学後に学びたい内容や実現したいことについて考えているか、これまで取り組んできたこと、その経験を通じて何を学んだかがポイントです。総合型選抜3期の芸術学部・デザイン学部・マンガ学部では、これまでに制作した作品についても評価します。

● アドバイス

オンライン試験で使用する面接システム「HireVue(ハイアービュー)」は、世界の多くの国で使用されていて、これまでも多くの方が受験しています。事前に練習することで、通信環境や、録画の時に声が聞こえているか、アングルに問題ないかなどを確認することができます。カメラに向かって話すときは、暗記した内容をただ読むだけでなく、話している相手に伝えることを意識して、練習することが大切です。「自己推薦書」では面接だけではわからないあなたについて知りたいと考えています。学校での活動や、個人での制作・取り組みについてまとめてみましょう。もし自分には立派な実績がないので書くことがないと思っても、あなたが好きなこと、興味・関心があること、頑張ったことなどを思い起こし、周りの人にも聞いてみて、自分自身のことが伝わるように意識して文章にしてみましょう。

● 試験方式

人文学部を志望する方は、「体験授業」または「オンラインプレゼンテーション」のいずれかを選択してください。

実施学部	試験方式・試験科目	配点	出題内容	時間	
人文学部	体験授業	レポート・面接	200点	出題内容は、総合型選抜1期と同じです。 P11の「体験授業」を確認してください。	集合時間 12:30 13:00～ 16:30
		自己推薦書	50点	あなたのこれまでの活動実績や制作実績、またその成果について、具体的な内容を800字程度(上限1200字)で記述してください。	インターネット 出願時に 入力(提出) すること
	オンライン プレゼン テーション (オンライン ・録画方式)	プレゼン テーション (オンライン ・録画方式)	200点	現在、あなたに関心をもっている「モノ」を1つ取り上げ、プレゼンテーションをしてください。例えば、歴史コースに興味があるならば一城郭や刀剣、文学コースであれば一小説や歌、社会コースであれば一食品ロスやスマホ、国際文化コースに興味があるならば一海外の食や装身具、国際日本学コースであるならば一マンガやお茶など、取り上げる「モノ」は自由です。あなたの独自の視点から面白いと思う「モノ」でも構いません。取り上げた「モノ」について、次の3つの点を盛り込んで、プレゼンテーションをしてください。 ①モノを具体的に提示する ②モノを丁寧に、かつ細かく説明する ③モノに関心をもったきっかけとあなたの思いを語る 制限時間は5分です。プレゼンテーション終了後は、いくつかの質問に答えてください。	試験当日 11:00～ 13:00の間に 受験を完了 させること
		自己推薦書	50点	あなたのこれまでの活動実績や制作実績、またその成果について、具体的な内容を800字程度(上限1200字)で記述してください。	インターネット 出願時に 入力(提出) すること
メディア 表現学部	オンライン プレゼン テーション	プレゼン テーション (オンライン ・録画方式)	200点	現在のメディアやコンテンツに関する問題の中で、あなたが興味や関心を持っていることを1つ取り上げ、①メディアやコンテンツの内容、②関心を持った理由、③メディアやコンテンツについてあなたが考えたことや学んだこと、についてプレゼンテーションをしてください。制限時間は5分です。また、プレゼンテーション終了後に、いくつかの質問に答えてください。	試験当日 11:00～ 13:00の間に 受験を完了 させること
		自己推薦書	50点	あなたのこれまでの活動実績や制作実績、またその成果について、具体的な内容を800字程度(上限1200字)で記述してください。	インターネット 出願時に 入力(提出) すること

※オンラインプレゼンテーション(オンライン試験)の流れや事前の準備などについてはP27を参照

● 試験日程・会場

出願期間	受験票印刷日	試験日	試験会場	可否発表日	入学手続締切日
2025年 11/27(木) 0:00～ 12/3(水) 15:00	12/10(水) 12:00～	12/14(日)	体験授業 京都精華大学	12/22(月) 12:00	2026年 1/7(水)
			オンライン プレゼンテーション オンライン		

総合型選抜5期

人文

メディア
表現

芸術

デザイン

マンガ

● 試験方式

実施学部	試験方式・試験科目	配点	出題内容	時間
人文学部 メディア 表現学部	オンライン 面接	面接	録画方式のオンライン面接により、将来の目標や本学で学びたいこと、これまでの活動や経験などについての複数の質問に対して、回答を録画してください。複数の質問にはそれぞれ制限時間があります。自己アピールのために、これまでの活動の写真、制作物、書類などを提示することができます。所要時間は受験票の提示や、録画した回答の確認などを含め、30分～60分程度です。	試験当日 11:00～ 13:00の間に 受験を完了 させること
		自己 推薦書	あなたのこれまでの活動実績や制作実績、またその成果について、具体的な内容を800字程度(上限1200字)で記述してください。	インターネット 出願時に 入力(提出) すること

※オンライン面接に関する資料・評価のポイント・アドバイスはP24、オンライン試験の流れや事前の準備などについてはP27を参照

● 試験日程・会場

出願期間	受験票印刷日	試験日	試験会場	合否発表日	入学手続締切日
2026年 1/7(水) 0:00～1/15(木) 15:00 2025年 12/19(金) 0:00～1/5(月) 15:00 2026年 1/5(月) 15:00 <small>国内学生</small> <small>外国人 留学生</small>	1/28(水) 12:00～	2/3(火)	オンライン	2/18(水) 12:00	2/24(火)

総合型選抜6期

人文

メディア
表現

芸術

デザイン

マンガ

● 試験方式

実施学部	試験方式・試験科目	配点	出題内容	時間
人文学部 メディア 表現学部	オンライン 面接	面接	録画方式のオンライン面接により、将来の目標や本学で学びたいこと、これまでの活動や経験などについての複数の質問に対して、回答を録画してください。複数の質問にはそれぞれ制限時間があります。自己アピールのために、これまでの活動の写真、制作物、書類などを提示することができます。所要時間は受験票の提示や、録画した回答の確認などを含め、30分～60分程度です。	試験当日 11:00～ 13:00の間に 受験を完了 させること
		自己 推薦書	あなたのこれまでの活動実績や制作実績、またその成果について、具体的な内容を800字程度(上限1200字)で記述してください。	インターネット 出願時に 入力(提出) すること

※オンライン面接に関する資料・評価のポイント・アドバイスはP24、オンライン試験の流れや事前の準備などについてはP27を参照

● 試験日程・会場

出願期間	受験票印刷日	試験日	試験会場	合否発表日	入学手続締切日
2026年 3/2(月) 0:00～ 3/9(月) 15:00	3/12(木) 12:00～	3/14(土)	オンライン	3/19(木) 12:00	3/23(月)

オンライン面接／ オンラインプレゼンテーションとは？

オンライン面接、および総合型選抜4期のプレゼンテーションは、オンラインによる録画方式の試験です。
スマートフォンやパソコンなどを利用して、国内、海外のどこからでも受験することができます。

● オンラインによる録画の流れ

オンライン面接、および総合型選抜4期のプレゼンテーションは、以下の流れで受験します。

1 事前 オンライン環境の準備



試験当日までに、受験者が1人になれる場所の確保、インターネット接続環境(Wi-Fi環境推奨)、パソコン、タブレット、スマートフォンなどの機器を準備しましょう。

2 試験当日 試験ページへアクセス



試験当日10:30～11:00に、マイページに個人情報として登録したメールアドレス宛てに、案内メールが届きます。案内メールに記載されたURLから、オンライン試験ページへアクセスしてください。

3 受験票を提示



志願者本人であることを示すため、受験票を提示しながら、顔をカメラに写してください。準備ができれば、試験を開始しましょう。

4 質問動画の再生



面接者からの質問動画が再生されます。よく聞きましょう。質問は文字でも表示されます。

5 1問ずつ回答(録画)



面接者の質問が終了すると、あなたが回答する番になります。1問ずつ制限時間内に回答(録画)してください。

6 1問ずつ 動画を確認し送信



質問に回答すると、録画した動画を確認することができます。必ず確認してから送信してください。1つの質問につき、2回まで撮り直しが可能です。

7 次の質問動画の再生



回答を送信すると、次の質問が再生されます。すべての質問に回答(録画)したら、試験は終了です。

● 事前に準備すること

- 受験にはスマートフォン、タブレット、パソコン(カメラ、マイク、スピーカーが付いていること)のいずれかの機器が必要になります。
- 録画をする際に画面がブレないように、スタンドなどを利用して機器を固定してください。
- 受験時に本人確認を行いますので、事前に受験票を印刷しておいてください。

● 受験する場所・服装

- 志願者以外の者がいない部屋で、騒音や障害物がなく、十分に明るい場所で受験してください(公園、インターネットカフェ、レストランなどは不可)。
- 受験票の写真で本人を照合しますので、帽子、サングラス、マスクなどの顔がかくれるものは身につけないでください。

● オンライン試験の練習

オンライン試験の練習用サイトを公開します。練習問題は実際の入試での質問とは異なりますが、機器の接続確認や回答(録画)の練習ができます。何度でも試してください。

2025年
4月下旬公開予定
オンライン方式入試の
練習用サイト



鉛筆デッサンとは？

人文

メディア
表現

芸術

デザイン

マンガ

鉛筆デッサンは芸術学部、デザイン学部、マンガ学部の志願者を対象にした実技試験です。
複数の種類のモチーフを自分で机の上に配置して、鉛筆で描写する試験です。
外国人留学生入試1期・2期では鉛筆デッサンと日本語作文の2科目を受験する必要があります。

● 出題内容

対象入試種別	試験内容	時間	配点
学校推薦型選抜(公募制) 一般選抜1期	鉛筆デッサン 複数の種類のモチーフを机の上に配置して鉛筆で描写する。 支給物 モチーフ、画用紙(B3) 制作条件 出題内容によっては制作条件が指示される。	180分 午後開催	200点
外国人留学生入試1期	鉛筆デッサン 上記と同じ	180分 午後開催	150点
外国人留学生入試2期	日本語作文 与えられた課題について、自分の考えを 300字程度の日本語で記述する。	20分	50点

※各対象入試に関する試験の詳細は、2025年7月以降に発行される『入学試験要項』をご確認ください。

● 評価のポイント

鉛筆デッサン

定型物の形や比率の正確さ、各モチーフ間の大きさのバランスがとれているか。立体感や重量感、質感や色の違いが表現できているか。各モチーフの特徴を活かした画面構成となっているか、また、モチーフによって作り出される奥行き、空気感、差し込む光、絵としての世界観を意識しているかを主に評価します。

日本語作文

日本語として適切な表現で、論理的にわかりやすい文章が書けるかを評価します。

● 試験に持参できる用具

- 黒芯の鉛筆またはシャープペンシル
- 鉛筆削り(電動式、大型、ハンドル付きは不可)
- 消しゴム(練り消しゴム含む)
- カッターナイフ(鉛筆を削る用途以外は不可)
- 画板・カルトン(大きさ、種類は問いません)
- クリップ(クリップ代わりのマスキングテープ、画鋏などの利用は不可)
- 羽ぼうき
- 製図用ブラシ
- デッサン用スケール
- はかり棒
- 擦筆(さっぴつ)

● アドバイス

モチーフは、生活の中で使用される金属、ガラスなどの定型物と、食べ物や自然物などの不定形物の組み合わせがよく出題されます。「評価のポイント」をよく読んで、これらのモチーフ間の差異をよく観察することから始めましょう。支給する画用紙は少し硬めで、鉛筆で強く描いても紙が毛羽立つことはありません。鉛筆の濃淡も使い分けましょう。鉛筆デッサンの経験がない人は、身近にある日用品を机の上に置いて、それを使っている風景を思い浮かべながら描いてみましょう。

過去問題



● 出題例・合格参考作品 (2025年度入試問題より)

● 入試種別

2025年度入試問題
学校推薦型選抜(公募制)
外国人留学生入試1期

● モチーフ

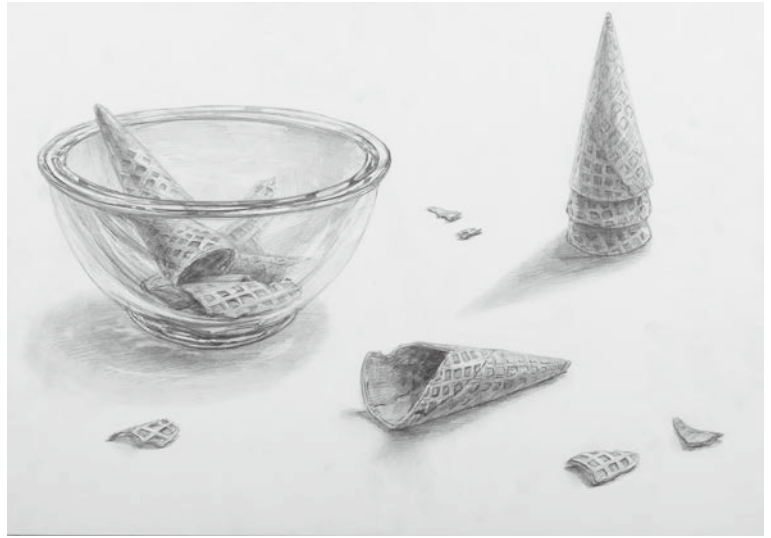
- ・ ガラスボウル 1個
- ・ アイスクリームコーン 1箱(6個入)



● 制作条件

- ・ モチーフは2種とも描写すること。
- ・ アイスクリームコーンは箱の中にトレーと中袋で包まれています。アイスクリームコーンを取り出し、箱、トレー、中袋は描かないこと。
- ・ アイスクリームコーンの加工は自由とする。
- ・ アイスクリームコーンを描く個数は自由とする。ただし、適量をガラスボウルに入れること。
- ・ 画用紙は、縦位置／横位置のいずれに使用してもよい。

● 合格参考作品



2025年度入試 合格作品

● 入試種別

2025年度入試問題
一般選抜1期
外国人留学生入試2期

● モチーフ

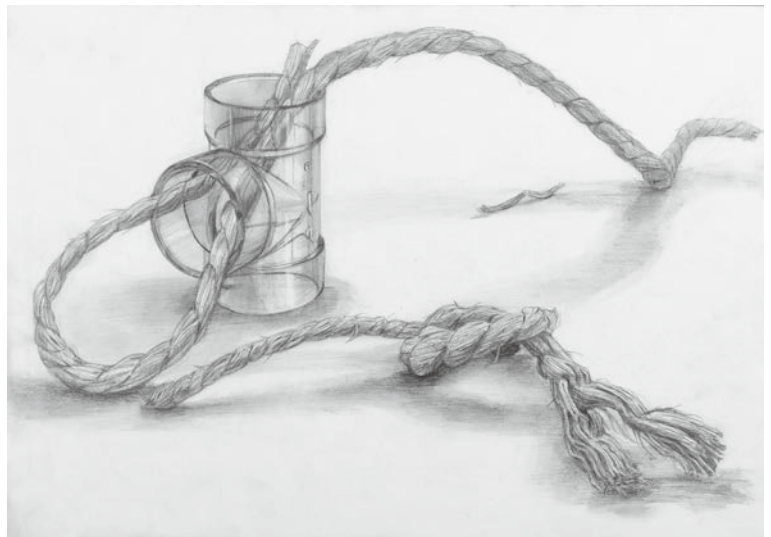
- ・ 塩化ビニル製パイプ 1個
- ・ 荒縄 1本



● 制作条件

- ・ モチーフは2種とも描写すること。
- ・ 荒縄の加工は自由とする。加工にあたり貸与したハサミを使うことができる。荒縄はすべてを使用してもよいし、一部だけを使用してもよい。
- ・ ハサミはモチーフではないため、描写しないこと。
- ・ 画用紙は、縦位置／横位置のいずれに使用してもよい。

● 合格参考作品



2025年度入試 合格作品

色彩構成とは？

人文

メディア
表現

芸術

デザイン

マンガ

色彩構成は芸術学部、デザイン学部の志願者を対象にした実技試験です。
与えられたテーマから自由に発想し、色彩構成する試験です。
外国人留学生入試1期では色彩構成と日本語作文の2科目を受験する必要があります。

● 出題内容

対象入試種別	試験内容	時間	配点
学校推薦型選抜(公募制)	色彩構成 与えられたテーマから自由に発想し、色彩構成する。 支給物 画用紙(B4)、下描き用紙(A4) 制作条件 出題内容によっては制作条件が指示される。	180分 午前開催	200点
外国人留学生入試1期	色彩構成 上記と同じ	180分 午前開催	150点
	日本語作文 与えられた課題について、自分の考えを 300字程度の日本語で記述する。	20分	50点

※各対象入試に関する試験の詳細は、2025年7月以降に発行される『入学試験要項』ご確認ください。

● 評価のポイント

色彩構成

与えられたテーマからの「発想力」、発想を他者に伝える「表現力」、ひとつの作品にまとめる「構成力」、色のバランスを考慮する「色彩感覚」を重視します。上記をふまえ、1枚の作品から独自の世界が表現されているかを評価します。

日本語作文

日本語として適切な表現で、論理的にわかりやすい文章が書けるかを評価します。

● 試験に持参できる用具

- 黒芯の鉛筆またはシャープペンシル
- 鉛筆削り(電動式、大型、ハンドル付きは不可)
- 消しゴム(練り消しゴム含む)
- カッターナイフ(鉛筆を削る用途以外は不可)
- 画板・カルトン(大きさ、種類は問いません)
- クリップ(クリップ代わりのマスキングテープ、画鋏などの使用は不可)
- 水性絵具(アクリルガッシュ、ガッシュ、ポスターカラーなど)
- 筆、筆洗、筆ふき、パレット
- 烏口
- 定規
- コンパス
- マスキングテープ

● アドバイス

普段から身の回りの人、物、風景やその形、特徴、質感、色彩などをよく観察して、言葉から発想したイメージを自分で描けるように練習していきましょう。
指定された絵の具に慣れておき、塗り残しがないように時間内に仕上げる練習をすることも大切です。あなたが表現したい世界が、人に伝わるかどうか、魅力的かどうかを意識しながら制作してみましょう。

参考作品



● 出題例・参考作品

● テーマ(例)

雲、紅葉

● 制作条件

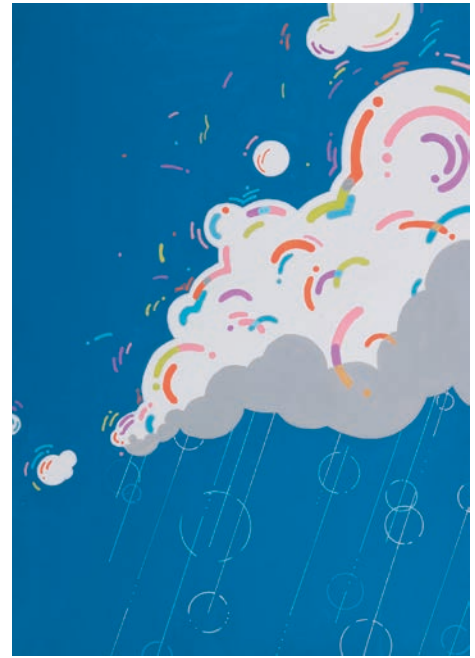
- ・画用紙は、縦位置／横位置のいずれに使用してもよい。
- ・下描きは支給された下描き用紙を使用すること。
- ・筆洗の水は自由に入れ替えることができる。指定された場所に排水すること。

● 参考作品 テーマ「雲」



テーマ「雲」

教員コメント 何やら悪戯好きな神様が雲を掻き回して雨を降らせようとしている様を想像させる楽しい作品です。大胆なアングルと色彩計画に脱帽。



テーマ「雲」

教員コメント 泡のように弾ける楽しさを持った雲、雨の表現もユニークで楽しい作品です。着色も綺麗で好感が持てます。

● 参考作品 テーマ「紅葉」



テーマ「紅葉」

教員コメント 細かく描写された葉と水に映り込んだ景色が、美しい紅葉の景色を想像させ、色数は少ないですが想像力を掻き立てる作品です。

テーマ「紅葉」

教員コメント 細やかな描写が際立つ作品です。左上に光のさす空間を配した構成も見事で、意外性のある梨が瑞々しさを感じさせる効果を生んでいます。



マンガ表現はマンガ学部の志願者を対象にした実技試験です。
与えられた題材から自由に発想し、マンガ表現する試験です。
外国人留学生入試1期ではマンガ表現と日本語作文の2科目を受験する必要があります。

● 出題内容

対象入試種別	試験内容	時間	配点
学校推薦型選抜(公募制)	マンガ表現 与えられた5個の題材から2つを自由に選び、2つの題材を組み合わせ発想したイメージを条件に従い画用紙に表現する。 また、原稿用紙に制作の目的や背景、考え方を説明する(200字以内)。 支給物 画用紙(B4)、下描き用紙(A4)、原稿用紙 制作条件 出題内容によっては制作条件が指示される。	180分 午前開催	200点
外国人留学生入試1期	マンガ表現 上記と同じ	180分 午前開催	150点
	日本語作文 与えられた課題について、自分の考えを300字程度の日本語で記述する。	20分	50点

※各対象入試に関する試験の詳細は、2025年7月以降に発行される『入学試験要項』をご確認ください。

● 評価のポイント

マンガ表現

与えられた題材を効果的に活用する発想力、伝えたい内容をわかりやすく表現する伝達力、一枚の画面に整理してまとめる構成力を評価します。画面内に文字や文章を使用することは可能ですが、それらも表現要素の一部として考慮してください。制作意図を示す文章も重要な表現要素の一つです。これらを総合的に判断し、作品の完成度を評価します。

日本語作文

日本語として適切な表現で、論理的にわかりやすい文章が書けるかを評価します。

● 試験に持参できる用具

- 黒芯の鉛筆またはシャープペンシル
- 鉛筆削り(電動式、大型、ハンドル付きは不可)
- 消しゴム(練り消しゴム含む)
- カッターナイフ(鉛筆を削る用途以外は不可)
- 画板・カルトン(大きさ、種類は問いません)
- クリップ(クリップ代わりのマスキングテープ、画鋲などの使用は不可)
- 水溶性絵具(アクリルガッシュ、ガッシュ、ポスターカラーなど)
- 色鉛筆、ボールペン、サインペン、マーカー(筆状のペンなど種類は問いません)
- 筆、筆洗、筆ふき、パレット
- 定規(直定規および三角定規)

● アドバイス

さまざまなスタイルで表現できる試験ですが、スタイルによって有利不利はありません。自身が練習してきた得意な表現技法で臨んでください。できるだけ多くの具体物(人や動物、物、風景など)を描写できる力があると、伝えたいことをより明確に表現できます。また、抽象的なイメージ(光、時間、風など)を視覚化する工夫にも挑戦してみてください。登場するキャラクターの感情表現やストーリー性のある構成、世界観の構築など、作品ごとに目指す方向性は異なります。複雑な感情表現や壮大なストーリーであっても、相手に伝わらなければ意味がありません。試験時間は限られているため、伝えたいことを整理し、自身の作品の方向性をしっかりと見定めて取り組みましょう。

参考作品



● 出題例・参考作品

● 題材(例)

光、瞬間、果物、
スポーツ、小学生

(選んだ2つの題材を、原稿用紙に記載する。)

● 制作条件

- ・ 画用紙は、縦位置／横位置のいずれに使用しても良い。
- ・ 下描きは支給された用紙を使用すること。
- ・ 画面は、1枚絵として表現しても、画面を分割(コマ割り)して表現してもよい。
- ・ カラーで表現してもモノトーン(白黒)でもよい。
- ・ 画面内にセリフや吹き出し、効果音を記載して表現してもよい。

● 参考作品



選んだ題材 「瞬間」「小学生」
大人になるにつれ、少年少女だった自分の姿を忘れるのはよくあることです。しかしふしぎなことに、少女の頃の大事なともだちに会うと、いつのまにか少女の頃にもどっている。すくなくとも、みんな一度はけいけんしたことあるはず。一緒におまごどやって、アイス分け合って、かえり道いつも手をつないだ、好きなあの子に会った瞬間、自分はいつのまにか大人の自分はいなくなり、小学生の自分に戻る瞬間を描きました。

教員コメント 時系列のコマ構成ではなく、印象を捉える少女マンガ的な表現として魅力的。題材の扱いも無理がなく、素直に魅力が伝わる。



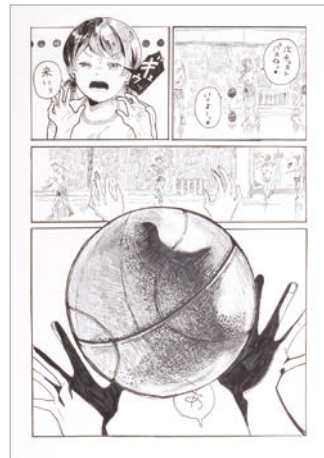
選んだ題材 「瞬間」「小学生」
まず題材を見て思いついたのが光になってしまった小学生。しかしその場合バッドエンドになってしまうと考え瞬間と小学生にした。とにかく男の子が描きたかった。そしてそこから読み切りに持っていける可能性の残した作品にしようと考え、瞬間移動装置を使っただけで大人が小学生になってしまった、という漫画が出来上がった。登場人物が小学生になってしまってもわかりやすいキャラデザを意識した所がポイントだ。

教員コメント マンガの1ページ目として見るとフックが効いており明快。題材から発想し、ページをめくりたくなる構成が見事。



選んだ題材 「小学生」「光」
題材選択について、普段人物の作画をすることが多いため、「小学生」を選び、絵の具を用いて「光」を表現することに挑んだ。小学生らが元気に遊ぶ光景の温かさと、広葉樹をとおしてふりそそぐ陽の光の温かさがマッチする画面構成と着彩を目指した。空間を演出したかったため、縦構図をとり、俯瞰での画面構成にした。

教員コメント シンプルなイメージの展開だが、表現の魅力で空気感が伝わる。



選んだ題材 「スポーツ」「小学生」
小学四年生だった頃の私は視力が悪かったにもかかわらず、そのことに気付かないで過ごしていた。バスケット部に所属しており、遠くでポヤとした人影から突然ボールが飛び出してくる光景を覚えている。後日眼科で測ったところ両目で0.08しかなく、いそいで眼鏡をかけさせられたが、あの頃の不自由な視界でのバスケットボールも自分の中ではスリリングな思い出になっているので、それをマンガで表現しました。

教員コメント 解説がないとやや分かりにくいですが、些細な記憶を丁寧に拾い、物語がじわじわと広がる味わい深い作品。



選んだ題材 「果物」「小学生」
「小学生」から「未熟」という言葉を連想した。そこから、まだ未熟な小学生の女の子が熟れた赤いりんごに手を伸ばしているという構図にした。女の子の足元には青りんごが転がっていて、小学生という未熟な状態を暗喩している。

教員コメント 素直にイメージが伝わる作品。果物と小学生から「未熟」に展開する発想が面白い。



選んだ題材 「瞬間」「小学生」
以前よりきびしくなった世界のせいで、年末年始のような時に家族や大切な人と過ごすよりも、個人的な時間を選ぶ人が増えている。そして、きれいな思い出も次第に消えていき、最後は縁までも失われてしまうかもしれない。私は自分が思う一番好きな思い出を描いて、他の人々の瞬間について考えながら、久しぶりに大切な人に連絡をしたい。

教員コメント 素朴な画風が魅力的で、一枚絵でも暖かな物語が見えてくる。

学力2科目とは？



※英語・国語の2科目指定方式は
人文学部・メディア表現学部のみ実施

学力2科目は自分の得意な科目を選択することができる試験です。

英語・国語の2科目が指定されている方式と、英語・国語・数学(3科目)から2科目を選択する方式、

英語・国語・数学・日本史・世界史(5科目)から2科目を選択する方式があります。

解答は全科目マーク式(国語は一部記述式)です。

● 出題内容

対象入試種別と選べる科目

試験科目	2科目指定	3科目から 2科目選択	5科目から 2科目選択	試験内容	時間	配点
英語	外国人留学生入試1期 英語・国語の2科目指定	外国人留学生入試1期 英語・国語・数学から2科目選択	外国人留学生入試2期 英語・国語・数学・日本史・世界史から2科目選択	「英語コミュニケーションⅠ」 「英語コミュニケーションⅡ」 「論理・表現Ⅰ」 本学が指定する英語の資格・検定試験のスコアを利用して、「英語」の得点に換算すること(みなし得点)ができます。 詳細は、2025年7月以降発行予定の『入学試験要項』を必ずご確認ください。	120分 午前開催	200点 (100点×2科目)
国語			「現代の国語」 「言語文化(古文・漢文を除く)」 思考力・判断力・表現力を評価するために記述式の設問を含みます。			
数学			「数学Ⅰ」「数学A」			
日本史			「日本史探究」			
世界史			「世界史探究」			

※各対象入試に関する試験の詳細は、2025年7月以降に発行される『入学試験要項』をご確認ください。

● 評価のポイントとアドバイス

英語

「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」「論理・表現Ⅰ」を出題範囲としています。英語を読む力や会話のやりとりをする力、語彙力、文法・語法に至る英語力を主に測ります。読解問題の対策として、800語～1000語程度の英文を辞書に頼らず読み、必要な情報を正確に読み取り、要点や概要を把握する練習をしましょう。

あわせて、文法の副読本や問題集に確実に取り組むことも必要です。

国語

「現代の国語」「言語文化(古文・漢文を除く)」を出題範囲として、社会・文化・歴史などの分野について書かれた論説文や評論文を中心にとりあげます。筆者の主張を読み取る問題を通じて、読解力、論理的思考力、語彙力を問い、国語の基礎力を測ります。選択問題(マーク式)に加え、記述式の設問(30字～50字程度)があります。論理的な文章をしっかり読み込み、基本的な漢字・語彙・接続詞などにも留意しながら、素材文の主張を読み取る練習をしましょう。

数学

「数学Ⅰ」「数学A」を出題範囲として、幅広く数学の基礎的な力を測ります。教科書の基本問題を確実に解けるように復習を繰り返してください。難易度の高い問題より、まずは基礎を固めて、問題集で練習しましょう。苦手な単元は教科書や問題集の例題をみて解法を確認しながら、確実に解いていくことが大切です。

日本史

「日本史探究」を出題範囲として、日本史の基礎となる知識や思考力を問います。用語や年代を単に覚えるだけではなく、歴史の流れを意識し、年表や史料などからそれぞれの出来事や時代背景を理解することも必要です。伝統や文化、他国や時代のつながりなどと関連させて理解を深めてください。

世界史

「世界史探究」を出題範囲として、特定のテーマや地域だけに偏ることなく、世界史の基礎となる知識や思考力を問います。教科書や用語集を用いて正確な知識を身につけてください。また、単なる用語の暗記だけではなく、歴史の流れを知ることや、地図や史料などを活用して世界の文化や情勢についても理解を深めてください。

● 試験に持参できる用具

- 黒芯の鉛筆またはシャープペンシル
- 鉛筆削り(電動式、大型、ハンドル付きは不可)
- 消しゴム

小論文とは？

- 人文
- メディア表現
- 芸術
- デザイン
- マンガ

小論文は論説や評論などの課題文を読み解いて、自分の意見を600字～800字程度で論述する試験です。

● 出題内容

試験科目	入試種別	出題内容	時間	配点
小論文	一般選抜2期	課題文を読み解き、自分の意見を600字～800字程度で論述する。	90分	200点

※一般選抜2期に関する試験の詳細は、2025年7月以降に発行される『入学試験要項』をご確認ください。

● 評価のポイントとアドバイス

日本語の文章を読んで、その内容を理解したうえで、設問に対して自分の考えや意見を論述する試験です。課題文を読み解けているか、その論旨を正確に把握しているか。また示された設問について十分に考察し、自分の意見を論理的かつ、説得力があり、分かりやすい文章で説明できているかを評価します。解答の文字数は設問にもよりますが、600字～800字程度です。問われている内容を留意して、誤字・脱字にも注意して本学の過去問題を解いてみてください。また日頃から論説文・評論文を読んで、わからない言葉は意味を調べることも小論文の対策となるでしょう。

● 試験に持参できる用具

- 黒芯の鉛筆またはシャープペンシル
- 鉛筆削り
(電動式、大型、ハンドル付きは不可)
- 消しゴム

● 学力試験および小論文の過去問題

学力試験および小論文の各試験について、過去3年分の過去問題をウェブサイトに掲載しています(著作権の関係により掲載を控えた問題が含まれる場合があります)。各試験の「評価のポイントとアドバイス」を参考にしながら、過去問題を活用してください。

学力試験および
小論文の過去問題



大学入学共通テスト利用入試とは？

- 人文
- メディア表現
- 芸術
- デザイン
- マンガ

※2期・3期は人文学部・メディア表現学部のみ実施

大学入学共通テスト利用入試は、令和8年(2026年)度の大学入学共通テストの成績の中から、高得点の2教科・2科目を利用して可否を判定する入試です。1期は全学部で実施、2期・3期は人文学部・メディア表現学部で実施します。

● 本学が指定する教科・科目

教科	グループ	科目	配点
国語		「国語」(近代以降の文章) ※100点満点に換算します。	200点 (100点 × 2科目) 高得点の 2教科・2科目 を利用
地理歴史 公民		「地理総合/歴史総合/公共」※選択した2つの出題範囲を1科目として扱います。 「地理総合, 地理探究」「歴史総合, 日本史探究」「歴史総合, 世界史探究」 「公共, 倫理」「公共, 政治・経済」	
数学	①	「数学Ⅰ, 数学A」「数学Ⅰ」	
	②	「数学Ⅱ, 数学B, 数学C」	
理科		「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」※選択した2つの出題範囲を1科目として扱います。 「物理」「化学」「生物」「地学」	
外国語		「英語(リスニングを含む)」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」 ※「英語」のリーディングとリスニングの配点を1:1として、合計100点満点に換算します。	
情報		「情報Ⅰ」	

出願資格

本学の出願資格は下記の通りです。

すべての入学志願者に必要な基礎要件と、対象により必要な追加要件があります。

● 基礎要件 [学歴]

対象	すべての入学志願者
学歴	<p>次のいずれかの学歴要件(一部、年齢要件を含む)に該当すること、または2026年3月31日までに該当すること。</p> <ol style="list-style-type: none">1.日本国内において、高等学校または中等教育学校後期課程を卒業した者2.日本国内において、特別支援学校の高等部または高等専門学校の3年次を修了した者3.日本国内において、高等学校卒業程度認定試験(旧大学入学資格検定)に合格した18歳以上の者4.外国において、学校教育における12年の課程を修了した者 (12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣指定の準備教育課程[日本語学校]を修了する必要がある)5.外国において、12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した18歳以上の者6.外国の大学入学資格である下記のいずれかを有する者<ul style="list-style-type: none">・国際バカロレア(Diploma)を取得、Course Resultsのみは不可・GCE-Aレベル(2科目以上合格/E評価以上)・アビトゥーア(ドイツ) ・バカロレア(フランス) ・欧州バカロレア ・国際Aレベル(2科目以上合格/E評価以上)7.国際的な評価団体(WASC、CIS、ACSI、NEASC、Cognia、COBIS)の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者8.文部科学大臣により指定された専修学校の高等課程を修了した者9.上記以外に文部科学省が定める大学入学資格を有する者 (文部科学省 Webサイト「大学入学資格について」を参照)10.本学において、個別の入学資格審査により認められた18歳以上の者

● 追加要件1 [日本語能力]

対象	外国籍を有する入学志願者(特別永住者または日本国籍を含む重国籍者を除く)は、上記要件に加えて、 出願時点で 、次のいずれかの日本語能力に関する要件に該当すること。
日本語能力	<ol style="list-style-type: none">1.JLPT(日本語能力試験)N2レベル以上2.EJU(日本留学試験)「日本語」科目において[読解]/[聴解・聴読解]の合計が220点以上、および[記述]が25点以上3.JPT(日本語能力試験)525点以上4.J.TEST(実用日本語検定)A-Cレベルで認定を受け、600点以上5.BJT(ビジネス日本語能力テスト)420点以上

● 追加要件2 [日本での学修状況]

対象	在留資格「留学」で日本の学校に在籍している者は、上記要件に加えて、 出願時点で 、次の要件に該当すること。
日本での学修状況	在籍校の通算出席率が90%以上であること (出席状況を管理していない学校に在籍する者は、正規の修学年数で卒業できる成績を修めていること)

出願書類

入学志願者の属性や出願する入試種別、利用する制度によって提出する出願書類が異なります。
 なお、この場合の「提出」とは、郵送または日本国外からの発送を指します。

● 入学志願者種別の出願書類

入学志願者の属性に応じて、次のとおり
 便宜的に種別コードを割り当て、
 それぞれに提出が必要な出願書類を明示します。

コード	対象者の属性
A	日本国籍者、重国籍者(日本国籍を含む)、特別永住者
B	在留資格「留学」で日本国内に滞在中の者
C	「留学」以外の中長期滞在可能な在留資格で日本国内に滞在中の者
D	日本国外在住者

書類	摘要	入学志願者種別コード			
		A	B	C	D
入学志願票	出願システムに登録した入試種別・試験科目・志望先や個人情報などが表示された帳票がPDF形式で自動生成されます。印刷して提出してください。	✓	✓	✓	✓
学歴証明書類	次のいずれかの書類(原本)を提出してください。 1.日本の高等学校の調査書(厳封されたもの) 2.外国の高等学校の卒業見込証明書または在学証明書 3.各国の高等学校の卒業証明書 4.各国の高卒相当学力認定試験の合格を証明する書類 5.その他の大学入学資格を証明する書類 ※発行日に関する有効期間を定めません。	✓	✓	✓	✓
日本語能力を証明する書類	日本語能力に関する出願資格を満たしていることを証明する書類(成績通知書、成績証明書、成績確認書等)のコピーを提出してください。		✓	✓	✓
パスポート	顔写真のページのコピーを提出してください。 ※日本国外在住者のうち、有効なパスポートを所有していない場合は、出願前に入学グループへご相談ください。		✓	✓	✓
在留カード	在留カード(両面)のコピーを提出してください。		✓	✓	
日本国内での学修状況を証明する書類	次のいずれかの書類(原本)を提出してください。 1.日本語学校・専修学校等の出席状況を管理している学校の場合 在学、成績、出席状況のすべてを示す証明書(複数葉に分かれて可) 2.短期大学・四年制大学等の出席状況を管理していない学校の場合 在学証明書と成績証明書(成績証明書面で在学が証明できれば在学証明書は不要) 3.入学してからの通学期間が短く、証明書が発行されない場合(学校種問わず) 証明書を提出できない事情と、遅延提出見込日を明記した文書(様式不問/本人作成可) ※日本の高等学校に通学中の者は、この学修状況証明書類の提出は不要です。 書類の発行日から出願期間の開始日までが30日以内のもの を有効とします。		✓		

● 入試種別／利用制度別の追加出願書類

上記の入学志願者種別の書類だけでなく、次のケースでは追加書類の提出が必要となります。

書類	対象者	摘要
推薦書	学校推薦型選抜(公募制)の出願者	本学指定の様式を使用して高等学校などが作成し、厳封された書類を提出してください(2025年4月1日以降に発行されたもの)。
大学入学共通テスト成績請求票	大学入学共通テスト利用入試の出願者	大学入試センターが交付する「令和8年度共通テスト成績請求票(私立大学・公私立短期大学用)」を1枚、本学所定の用紙に貼り付けて提出してください。
英語資格・検定試験のスコアを証明する書類	英語資格・検定試験のスコア利用者	英語資格・検定試験のスコアを利用する者は、スコアを証明する書類のコピーを出願書類と一緒に提出してください。

● 出願書類に関する注意事項

- 特別な事情がない限り、提出された書類は返却しません。
- 経歴等の確認やその他の事由により、追加書類の提出を求める場合があります。
- 出願書類に虚偽の記載があった場合には、発覚時に応じて、出願不受理/受験不認可/合格取消/入学取消に処します。
- その他の注意事項や細則については、後日発行の『入学試験要項』を参照してください。

● 外国の学校が発行する証明書類

- 出身学校が卒業・修了を証明する書類を発行しておらず、卒業証書・学位記の原本以外に学歴を証明する書類がない場合、「卒業証書・学位記のコピー」をもって学歴証明書類に代えることができます。
- 各種の証明書は英語で表記されているものを提出してください。英語以外の母国語で表記されている場合は、原本とともに、日本語または英語の翻訳を提出してください。翻訳者は問わず、認証翻訳(Certified Translation)でなくても構いません。
- 出身校が電子版の証明書しか発行していない場合は、その電子証明書を印刷したものを提出してください。
- 中国の高等学校を卒業した者(※台湾、香港、マカオの高等学校は含まない)は、学歴・成績を証明する書類として、中国高等教育学生信息网(CHSI)が発行する学歴・成績認証書の英語版の提出が望まれます。

出願から入学までのプロセス

本学ではインターネットで出願を受け付けています。出願手続きにあたっては、インターネット接続環境(Wi-Fi環境推奨)と、スマートフォン、タブレット、パソコンなどの機器を用意し、まずは大学Webサイトのインターネット出願ページにアクセスしてください。

インターネット出願ページ
2025年8月下旬公開予定

マイページ登録

マイページに、個人情報や顔写真を登録してください。これが完了しないと出願登録には進めません。マイページの登録にはメールアドレスが必要です。

総合型選抜1期・2期

エントリー期間になったら登録開始

1 エントリー登録

入学検定料の納入

志望先、試験の参加日などを選択してください。「自己推薦書」はここで入力します。エントリー期間内に、入学検定料を納入してください。

2 受験票を印刷

受験票はマイページから各自で印刷して、試験当日に持参してください。本学からは送付しません。

3 受験

個別プログラムに参加してください。

4 出願可否発表

マイページで出願可否の結果を発表します。

5 出願登録

入学検定料の納入

出願書類の送付

志望先を選択してください。「学びの計画書」はここで入力します。出願期間内に、入学検定料を納入してください。

学校が発行する各種証明書を、出願期間内に本学へ送付してください。

6 合否発表

マイページで合否を発表します。合格通知書はマイページで発行します。

7 入学手続

入学手続締切日までに入学手続時納金を納入すれば、入学が認められます。入学許可証はマイページで発行します。

8 入学おめでとう

新入生のみなさんにお会いできることを、教職員・在学生一同心待ちにしています。

その他の入試

出願期間になったら登録開始

1 出願登録

入学検定料の納入

出願書類の送付

志望先、試験方式などを選択してください。選択した試験方式によっては、ここで「自己推薦書」を入力します。

出願期間内に、入学検定料を納入してください。

学校が発行する各種証明書を、出願期間内に本学へ送付してください。

2 受験票を印刷

受験票はマイページから各自で印刷して、試験当日に備えてください。本学からは送付しません。

3 受験

出願した試験科目を受験してください。

4 合否発表

マイページで合否を発表します。合格通知書はマイページで発行します。

5 入学手続

入学手続締切日までに入学手続時納金を納入すれば、入学が認められます。入学許可証はマイページで発行します。

6 入学おめでとう

新入生のみなさんにお会いできることを、教職員・在学生一同心待ちにしています。

インターネット出願ページ

インターネット出願ページには、出願方法、書類の送付要領、入学検定料の納入方法、よくある質問など、入試に関する情報を掲載しています。
また、学校推薦型選抜(公募制)の出願に必要な推薦書、奨学金の申請書など、本学指定様式を公開しています。必要な方は様式ファイルをダウンロードして、各自で印刷して利用してください。

● インターネット出願ページに掲載している各種様式例

□ 推薦書

学校推薦型選抜(公募制)に出願する方は必ず提出してください。

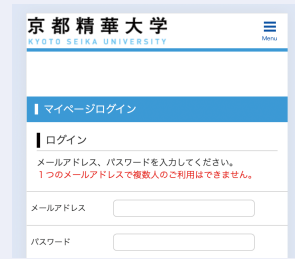
□ 宛名ラベル

出願書類を送付する際に使用する宛名ラベルです。
宛名ラベルはマイページで出願登録を完了した際に、志願者の氏名や住所などが入力された状態で印刷することができます。よってこの宛名ラベルは、マイページで印刷できない場合などにご利用ください。



マイページ

マイページは**志願者ごとに用意される入試用ページ**です。
氏名、住所、出身学校などの個人情報と、顔写真をあらかじめ登録することで、出願の際の手续をスムーズに進めることができます。その他にも、受験票の印刷、合否発表の確認、入学手続などを行う役割もあります。このように**マイページは出願から入学まで利用します**ので、マイページログイン用のメールアドレスとパスワードは大切に管理してください。



入学検定料について

出願には、入学検定料30,000円が必要です。なお、総合型選抜1期、2期については、エントリー時は10,000円で、入試の結果が「出願可」となり、出願する際に20,000円が必要です。

入試種別	入学検定料
総合型選抜1期	エントリー時 10,000円 ※総合型選抜1期で学内併願をした場合、5,000円追加。
総合型選抜2期	出願時 20,000円
総合型選抜3期	30,000円
学校推薦型選抜(公募制)	※総合型選抜3期、学校推薦型選抜(公募制)、外国人留学生入試1期を同一グループとして、グループ内で試験方式を追加する毎に10,000円追加。
外国人留学生入試1期	※学校推薦型選抜(公募制)、外国人留学生入試1期において、一つの試験方式内で、複数の募集単位に出願する場合(学内併願)の追加の入学検定料は無料。
総合型選抜4期	30,000円
総合型選抜5期	30,000円
一般選抜1期	※総合型選抜5期、一般選抜1期、外国人留学生入試2期を同一グループとして、グループ内で試験方式を追加する毎に10,000円追加。
外国人留学生入試2期	※一般選抜1期、外国人留学生入試2期において、一つの試験方式内で、複数の募集単位に出願する場合(学内併願)の追加の入学検定料は無料。
一般選抜2期	30,000円 ※学内併願は無料。
総合型選抜6期	30,000円
大学入学共通テスト利用入試	10,000円 ※学内併願をした場合、5,000円追加。

※総合型選抜2期、3期、4期、5期、6期は、学内併願することはできません。
※入学検定料の詳細は、2025年7月以降に発行される『入学試験要項』をご確認ください。

受験上の配慮

本学の入試では病気・負傷・障害などのために、受験に際して配慮を希望する方に対して、個別に受験上の配慮を行います。希望する方は出願に際して下記を確認してください。

● 受験上の合理的配慮

障害・疾病・負傷などがあるために受験上の合理的配慮を希望する方は、

試験日の2ヶ月前までに入学グループに連絡のうえ、申請をしてください。なお、申請は出願ごとに必要です。

また、出願後に不慮の事故(交通事故、負傷、発病)などにより、配慮が必要となった方はすみやかにご連絡ください。

※試験方式や申請内容によっては、希望する配慮を行えない場合があります。

申請手順

1. 試験日の2ヶ月前までに入学グループに連絡してください。
2. 「受験上の配慮申請書」を配付しますので、必要事項を記入し、根拠書類の写し(医師の診断書、検査所見・結果、障害者手帳、大学入学共通テスト受験上の配慮事項決定通知書など)を添付して、入学グループまで送付してください。必要に応じて申請内容についての聞き取りや、根拠資料の確認、追加資料を求めることがあります。
3. 本学で協議の上、決定した配慮内容をお知らせします。
なお、本学が必要と判断した場合は、面談のうえ、配慮内容を決定します。

入学後の修学支援

修学上の合理的配慮に関する相談を受け付けています。修学上の合理的配慮について質問や相談などがある場合は、本学の障害学生支援室までメール(shien@kyoto-seika.ac.jp)でお問合せください。必要な場合は障害学生支援室および、入学を予定している学科・コースの教員との面談を行います。なお、修学上の合理的配慮に関する相談は、入学手続完了後でも可能ですが、本学での準備に時間を要する場合がありますので、できる限り早めにご相談ください。本学の障害学生支援に関する制度の内容や利用方法、施設・設備などについては、大学Webサイト(障害学生支援)にてご確認ください。

障害学生
支援ページ



● 感染症への対応

志願者が学校保健安全法で出席停止が定められている感染症(新型コロナウイルス、インフルエンザなど)に罹患した場合、その感染症が他の受験者や監督者に広がるおそれがありますので、担当医師が「感染のおそれがない」と認めない限り、受験することはできません。

志願者が感染症の罹患によって試験を欠席した場合、入学検定料(欠席した日の分)の返還、または以降の入試種別への振替受験を申請することができます。申請方法は2025年7月以降に発行される『入学試験要項』を確認してください。

● 自然災害等の被災者に対する学費減免等救援措置

本学では自然災害などにより被災した保護者の方の経済的負担を軽減し、受験生の進学機会の確保を図るために、災害救助法などの適用地域居住の被災者を対象とした救援措置を設けています。救援措置の適用を希望する場合は、入学グループまでご連絡ください。

	入学前	入学後
金額(年間)	入学検定料:全額免除 入学金:全額免除 授業料:年間授業料の1/4の額を減免	最大年間授業料の 1/2の額を減免
対象	災害救助法の適用地域に志願者本人もしくは学費支弁者が居住し、 就学継続が著しく困難となった者(被災状況による支援基準があります。)	
採用人数	上限なし	
申請および選考方法	提出書類により被災状況と家計、国や地方公共団体による支援状況、 学内外の奨学金利用状況を総合的に審査	
時期	災害発生時	

入試・試験方式についてよくある質問

Q1 総合型選抜の体験授業はどんな入試ですか？

A1

大学の授業(模擬授業)を実際に体験してもらいます。
先生の講義を聞いて、レポートを書いたり、与えられた制作課題に取り組んでもらいます。

Q2 総合型選抜を受験したいのですが、他大学との併願はできますか？

A2

他大学との併願は可能

です。
総合型選抜1期・2期の場合、エントリーをして、個別プログラムを受験するまでは、他大学と併願ができます。
試験結果が「出願可」となった後、**出願手続から専願**となります。
なお、総合型選抜3～6期は専願入試ではありません。

Q3 総合型選抜1期の体験授業は試験時間が長いですが、休憩時間はありますか？

A3

メディア表現学部、芸術学部、デザイン学部、マンガ学部の体験授業は1日のプログラムですが、**途中に約1時間の昼食休憩**を設けています。

Q4 総合型選抜1期は、1日目と2日目で試験内容が異なりますか？

A4

2日間とも同じ内容

なので、いずれかの日程で受験してください。
志望の学科・コースを迷っている方は2つ受験して比べることができます。

Q5 総合型選抜1期・2期の結果が出願不可となりました。学校推薦型選抜(公募制)など他の入試で、同じコースを受験してもいいですか？

A5

もちろんOKです。**試験内容が違いますので、何度でも挑戦**してください。

Q6 外国人留学生は総合型選抜を受験できますか？

A6

はい。**受験できます**。ただし、総合型選抜3～6期については、在留資格の取得状況によって出願できる/できない入試がありますので、P7「外国籍の方へ」でご確認ください。

Q7 学校推薦型選抜(公募制)と指定校推薦入試の違いは何ですか？

A7

指定校推薦入試は本学が認定した指定校の生徒のうち、校内選考を経て推薦を受けた方だけが対象です。一方で学校推薦型選抜(公募制)は、指定校に在籍していなくても、自校の学校長による推薦書をもたらえることを条件に出願できる入試です。

Q8 学校推薦型選抜(公募制)に出願したいのですが、調査書の全体の学習成績の状況(評定平均値)の基準点はありますか？

A8

出願のための基準点は設けていません。評定平均値を点数化(10倍)して、受験した試験科目の点数との合計点によって合否を判定します。

Q9 自己推薦書はどのように提出すればよいですか？

A9

大学Webサイトの**マイページ**で**出願登録する際に、画面にテキスト入力**してください。
事前にテキストデータを準備しておけば、コピーして貼り付けることができます。

Q10 過去の試験問題はどこで入手できますか？

A10

過去問題は**大学Webサイトで過去3年分を公開**しています(総合型選抜を除く)。

出願についてよくある質問

Q1 願書はどこで入手できますか？

A1

紙の願書はありません。本学はWebで出願を受け付けています。志望先や試験方式等を出願画面(マイページ)で入力して、調査書や卒業証明書などの書類は本学に送付してください。

Q2 マイページで出願手続をして、入学検定料を支払った後、出願内容が間違っていることに気づきました。内容の修正はできますか？

A2

入学検定料を支払った後は出願内容の修正を受け付けません。入学検定料を支払う前であれば、出願登録を最初からやり直すことができます。個人情報の間違いについては、入学グループのメールアドレス宛に修正依頼メールを送ってください。

Q3 学校推薦型選抜(公募制)の学校長の推薦書は、大学指定の書式がありますか？

A3

はい。大学指定の書式を用意しています。大学Webサイトの「インターネット出願ページ」でダウンロードして使用してください。

Q4 総合型選抜3期と学校推薦型選抜(公募制)に出願します。それぞれ封筒を分けて送付する必要がありますか？

A4

出願期間が重複している複数の入試に出願する場合は1つの封筒にまとめて送付してください。総合型選抜5期と一般選抜1期に出願する場合なども同様です。調査書も1通で構いません。封筒はいずれかの入学試験の宛名ラベルを貼ってください。

Q5 出願書類は京都精華大学の窓口でも受け取ってくれますか？

A5

受け付けません。必ず郵便局などを利用して送付してください。

Q6 マイページのアカウント作成に必要なメールアドレスを持っていません。保護者などの本人以外のアドレスで登録してもよいですか？

A6

マイページのログインIDとなるそのメールアドレスは、出願登録の確認や、入学検定料の支払完了通知などにも利用しますので、本人以外のアドレスで登録することは望ましくありません。メールアドレスを持っていない場合は、志願者本人が確認できるフリーメールアドレス(Gmail、Yahoo!メールなど)を取得して登録してください。

Q7 マイページに登録する顔写真は、どの様な写真を使用したらよいですか？

A7

3か月以内に撮影したものを使用してください。顔写真は試験当日の本人照合だけでなく、入学後の学生証用の写真としても利用しますので、私服が望ましいです。

Q8 出願しましたが、受験票が届きません。

A8

受験票は受験票印刷日以降に、マイページからダウンロードして、各自で印刷して試験当日に持参してください。

Q9 出願が完了したか不安です。確認はできますか？

A9

マイページの出願(エントリー)履歴で、出願登録の内容、入学検定料の納入状況を確認することができます。

Q10 一度、調査書(卒業証明書)を提出しましたが、再受験の際にも調査書の再提出は必要ですか？

A10

2026年度入試で調査書(卒業証明書)を一度提出した場合は、それ以降の入試で再提出する必要はありません。ただし、提出書類によっては再提出が必要ですので、必ず2025年7月以降に発行される『入学試験要項』を確認してください。

オンライン試験(オンライン面接/オンラインプレゼンテーション)についてよくある質問

Q1 オンライン試験はリアルタイムで行われますか？
もしインターネット回線が途中で途切れてしまったら、どうなりますか？

A1

オンライン試験は録画方式で行います。もし質問への回答中にインターネット回線が途切れた場合は、再度アクセスすることで途中からやり直すことができますので安心してください。

Q2 オンライン試験を受験するためにパソコン以外の機器を使用してもいいですか？

A2

オンライン試験はパソコン、タブレット、スマートフォンなどの機器と、インターネットに接続する環境が必要になります。

Q3 試験時間はどのくらいかかりますか？

A3

質問数や撮り直す回数にもよりますが、60分程度が目安です。

Q4 自己アピールのための資料がありませんが、大丈夫ですか？

A4

自己アピールのための資料は必須ではありません。自分らしい回答ができるように準備してください。ただし、芸術学部、デザイン学部、マンガ学部では、あなたがこれまでに制作した作品を提示してもらう質問がありますので、準備が必要です。

Q5 海外に住んでいます。受験はできますか？

A5

はい。受験できます。本学が使用しているオンライン面接システムは、世界中から受験することができます。ただし、日本標準時(JST)で試験を実施しますので、海外から受験する場合は、時差に注意してください。

Q6 回答(録画)を失敗しました。撮り直しはできますか？

A6

回答の撮り直しは2回まで可能です。ただし、送信できるのは最後に撮影した動画になります。

Q7 自分で作成した動画を見せたいのですが、データを送信したり、ファイル共有をすることはできますか？

A7

オンライン試験(録画方式)では、データの送信、ファイル共有はできません。動画をディスプレイなどで再生して、カメラに写して見せてください。

Q8 オンライン試験の準備には何が必要ですか？詳しく教えてください。

A8

インターネット接続環境と受験のための機器の準備が必要です。以下にオンライン試験の準備ポイントをまとめましたのでご確認ください。

オンライン試験の準備のポイント

インターネット接続環境

350kbps以上のWi-Fi環境を推奨します。安定したデータ通信が行える環境で受験してください。最低100kbpsのデータ通信速度でも受験は可能ですが、通信速度が遅かったり、不安定だと、回答中に通信が途切れる原因になります。

受験のための機器

スマートフォン、タブレット、パソコンで受験できます。スマートフォンまたはタブレットを使用する場合は、専用アプリを事前にダウンロードする必要があります。アプリ HireVue for CandidatesをAppStore、Google Play アプリストアで検索してください。

入学金・学費

入学手続は以下の入学手続時納入金を、所定の入学手続締切日までに納入することで完了します。

学費(入学金・前期1期の授業料)と、諸費(同窓会費、教育後援会費)をあわせて納入してください。

締切日までに納入が完了しない場合は、入学を辞退したものとします。なお、締切日後の入学手続はいかなる理由があっても認めません。

● 入学手続時納入金

		人文学部	メディア表現学部	芸術学部	デザイン学部 マンガ学部
学費	入学金	200,000円			
	授業料(前期1期分)	271,500円	296,500円	387,500円	394,750円
諸費	同窓会費(終身会費)	10,000円			
	教育後援会費(1年分)	10,000円			
合計		491,500円	516,500円	607,500円	614,750円

※外国人留学生の方は入学手続時に「外国人留学生向け学研災付帯学生生活総合保険加入費」13,660円(4年分)が必要です(本学に在籍する外国人留学生のための保険)。なお、金額は2025年度の実績です。2026年度の加入費は変更となる場合があります。

※大学は同窓会と教育後援会から代理徴収を受託しており、請求を行なっております。

※教育後援会会費については、2年次以降卒業年次まで、各年次の前期1期分授業料と共に、毎年10,000円を請求します。

● 納入方法

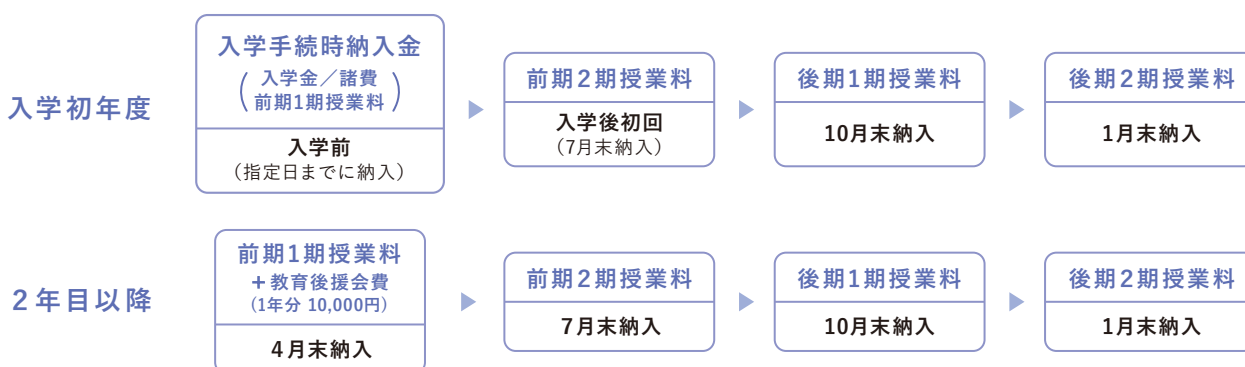
入学手続時納入金は、金融機関窓口、金融機関ATM、ネットバンキング、

国際学費決済サービスFlywireのいずれかの方法で納入をお願いします。

● 入学後の授業料納入について

入学後は、年4期に設けられた納入期日までに、年間授業料の4分の1を納入してください。

	人文学部	メディア表現学部	芸術学部	デザイン学部 マンガ学部
授業料(1期あたりの納入金額)	271,500円	296,500円	387,500円	394,750円
年間授業料	1,086,000円	1,186,000円	1,550,000円	1,579,000円



● ノートパソコンなどの購入について

本学では従来の対面型授業の他、より高い教育効果が得られる科目については、オンラインでの授業も取り入れています。また、各学部における専門科目の課題制作のためにも、学生各自にパソコンが必要となります。

入学予定の皆さんには、原則としてノートパソコンの購入と、自宅や下宿先におけるWi-Fiなどのインターネット接続環境の準備をお願いしています。指定のモデルや購入金額、購入時期などについては、学科・コースごとに異なります。詳細については合格者に案内します。

奨学金

本学では成績優秀な方や経済的に困難を抱えている方を支援するための奨学金制度を設けています。
奨学金には入学前に選考するものと、入学後に利用できるものがあります。
申請方法などの **詳しい情報は大学Webサイトでご確認ください。**

● 入学前に選考する奨学金

入学前に選考する奨学金は、期限までに申請が必要となる場合があります。
詳細はWebサイトでご確認ください。

奨学金に関心のある方は
必ず確認を！

大学Webサイト[奨学金]



奨学金の種類	対象学生	対象となる入学試験	採用人数	金額	資格要件
人文学部 入学試験 成績優秀特待生	国内 学生	学校推薦型選抜 (公募制) 一般選抜1期	各入試で 5名以内	入学金全額免除 年間授業料全額免除 ※授業料免除については 入学年次から4年間	対象入学試験の合格者の中で、 優秀な成績を収めた方 ※指定校推薦入試で合格し、入学手続を した方は、それ以降の入試に出願するこ とはできないため、人文学部入学試験 成績優秀特待生の対象となりません。
芸術学部 入学試験 成績優秀特待生	国内 学生	総合型選抜1期	若干名	入学金全額免除 年間授業料全額免除 年間授業料半額免除 ※授業料免除については 入学年次から4年間	対象入学試験の合格者の中で、 優秀な成績を収めた方
私費外国人留学生 EJU成績 優秀特待生	外国人 留学生	総合型選抜 (1期・2期・3期・4期・5期) 外国人留学生入試 (1期・2期) 指定校推薦入試	15名	年間授業料の 1/4の額	対象入学試験の合格者の中で、日本 留学試験(EJU)の「日本語」において、 「聴解・聴読解」と「読解」、「記述(35点 以上あること)」の合計が300点以上 の者のうち成績上位者を採用。2024 年4月1日以降に受験した成績に限る。

※人文学部入学試験成績優秀特待生・芸術学部入学試験成績優秀特待生に採用された方はP44の入学手続時納入金のうち、
同窓会費・教育後援会費(計2万円)を入学手続締切日までに納入してください。
※私費外国人留学生EJU成績優秀特待生は、本学入学時に在留資格「留学」を取得している者が対象です。

● 入学後に利用できる奨学金

奨学金の種類	採用人数	金額
英語資格取得 奨学金 ※	人文学部 国際教養学科 在籍者対象 (上限なし)	500,000円 (学年毎に給付)
※新入生は本学が指定する英語資格を満たすことで 1年次に給付対象となります。 ※在籍中は学年毎に本学が指定する英語資格のスコア取得者が 給付対象となります。		
成績優秀奨学金	各学年 15名	年間授業料の 1/4の額
海外プログラム 学修奨励奨学金	20名	年間授業料の 1/2の額
海外プログラム 履修奨励貸与奨学金	上限なし	最大 300,000円
短期奨学貸付金	上限なし	最大 30,000円
私費外国人留学生 大学学費減免	各学年 28名	年間授業料の 1/4の額

● 日本学生支援機構(JASSO)奨学金

給付奨学金+授業料等減免(「高等教育の修学支援新制度」)

本学は、「高等教育の修学支援新制度」の対象機関に認定されています。この制度は、修学意欲がありながらも経済的な理由により進学が困難な学生の経済的負担の軽減を目的とした国による支援制度です。日本学生支援機構の「給付型奨学金」を受けるのと同時に「授業料や入学金の減免」の支援を受けることができます(どちらも返還不要)。また、2025年度からの制度改正により、多子世帯(扶養する子ども3人以上)については、家計基準の制限がなく授業料減免の支援が受けられるようになりました。

貸与奨学金(第一種・第二種・入学時特別増額貸与奨学金)

貸与奨学金は返還が必要な奨学金制度です。無利子の第一種奨学金(月額2万円~6万4千円)・有利子の第二種奨学金(月額2万円~12万円)、入学時特別増額貸与奨学金(一時金10万円~50万円)があり、貸与を受ける金額は自分で決めることができます。

申し込みについて

予約採用 現在在学している学校で申込みをします。
(詳細は在学している学校にお問い合わせください。)

在学採用 大学で2回(春期・秋期)申込みを受け付けます。

※新入生も入学後に「在学採用」で申込みができますが、高校等で「予約採用」申込みをし、採用候補者と決定されることで、入学後の所定の手続きが簡単で奨学金の受け取りが早い段階から開始されることが期待できます。詳しくは、日本学生支援機構Webサイトおよび文部科学省Webサイト(高等教育の修学支援新制度)をご確認ください。

大学Webサイト
[JASSO奨学金]



2025年度入試結果

2025年度入試における学科ごとの志願者数、受験者数、合格者数は、下記の通りです。
下記の表には一般選抜2期・3期、大学入学共通テスト利用入試2期・3期は含みません。

● 入試結果

			総合型 1期	総合型 2期	総合型 3期	学校推薦 (公募制)	一般選抜 1期	共通テスト 1期	留学生 1期	留学生 2期
国際文化学部	人文学科	志願者	23	6	4	17	24	6	7	6
		受験者	19	6	3	16	23	6	5	6
		合格者	14	4	3	14	17	5	3	3
	グローバル スタディーズ 学科	志願者	14	3	6	6	12	7	1	5
		受験者	13	2	6	6	12	7	1	5
		合格者	11	1	6	5	12	7	1	4
メディア 表現学部	メディア 表現学科	志願者	88	0	2	38	48	32	18	11
		受験者	83	0	2	38	47	32	17	11
		合格者	64	0	2	36	43	24	14	7
芸術学部	造形学科	志願者	151	29	—	83	101	24	59	19
		受験者	137	23	—	82	94	24	41	14
		合格者	81	14	—	44	47	13	13	5
デザイン学部	ビジュアル デザイン学科	志願者	186	26	—	103	76	36	62	11
		受験者	166	24	—	102	73	36	59	9
		合格者	34	6	—	13	19	4	9	1
	イラスト学科	志願者	227	69	—	55	47	12	148	39
		受験者	207	51	—	54	46	12	126	37
		合格者	40	7	—	5	3	1	4	1
	プロダクト デザイン学科	志願者	77	13	—	30	40	24	27	21
		受験者	71	11	—	30	38	24	24	20
		合格者	41	7	—	26	17	8	17	4
	建築学科	志願者	36	9	—	10	28	16	39	18
		受験者	31	9	—	10	25	16	33	16
		合格者	16	4	—	9	21	15	23	11
マンガ学部	マンガ学科	志願者	777	—	—	126	96	39	480	134
		受験者	717	—	—	126	95	39	412	123
		合格者	149	—	—	18	13	7	24	16
	アニメーション 学科	志願者	177	—	—	43	34	22	133	66
		受験者	165	—	—	43	33	22	119	55
		合格者	48	—	—	12	11	4	14	4

※総合型選抜1期・2期において、志願者とはエントリー者のことです。また、合格者とは試験において認定可を受けて出願し、合格となった者のことです。
※上記の数値には学内併願、同一学科・コースの複数回受験を含んでいます。

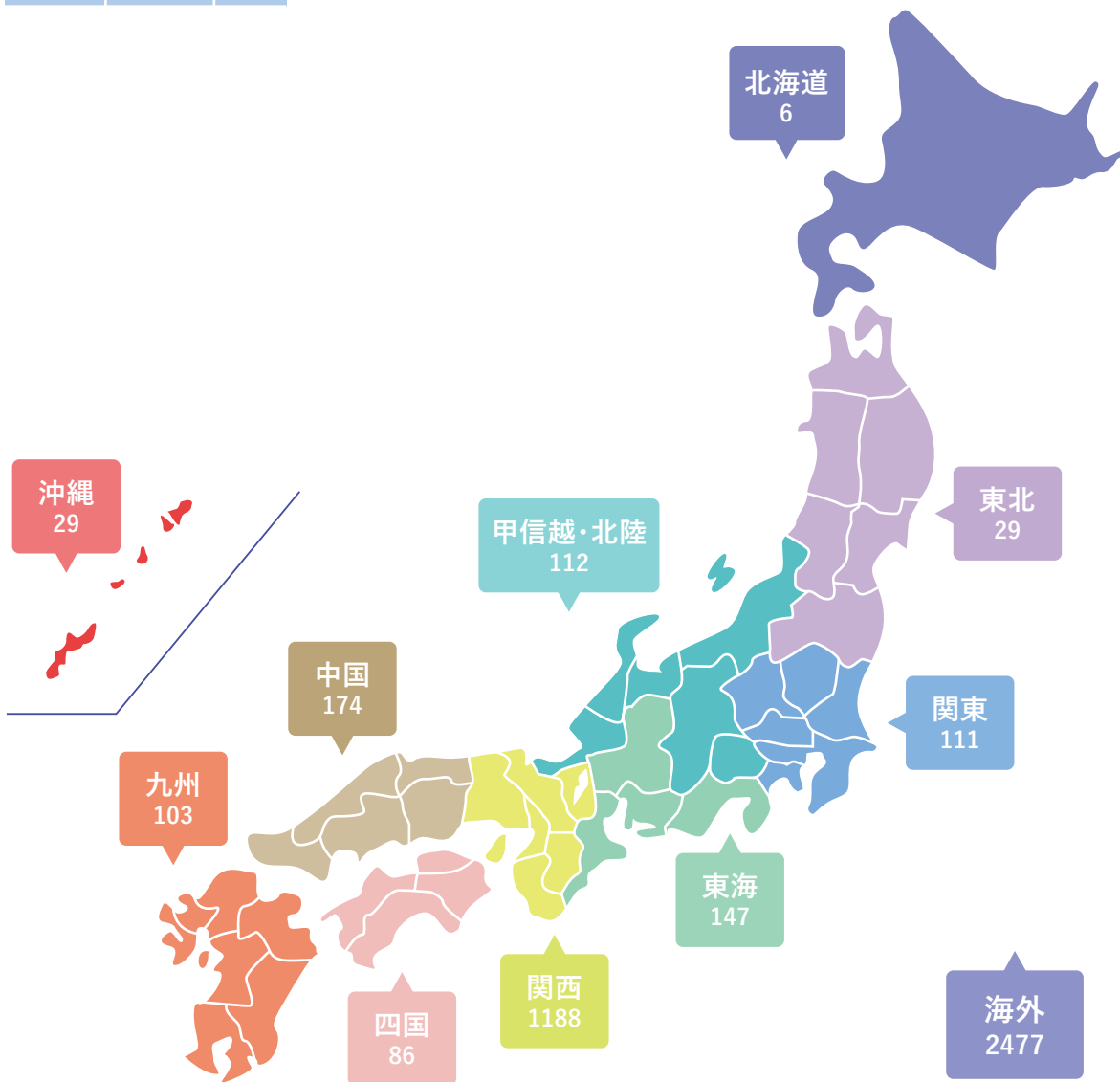
より詳しい情報は
大学Webサイトで
公開しています。

入試結果



● 地域別志願者数

地域	都道府県	志願者数	地域	都道府県	志願者数	地域	都道府県	志願者数	地域	都道府県	志願者数
北海道	北海道	6	甲信越・北陸	新潟県	12	関西	滋賀県	142	四国	徳島県	22
	東北	青森県		1	富山県		21	京都府		410	香川県
岩手県		2		石川県	17		大阪府	351		愛媛県	31
宮城県		2		福井県	20		兵庫県	214		高知県	3
秋田県		2		山梨県	3		奈良県	50		九州	福岡県
山形県		14		長野県	39		和歌山県	21	佐賀県		2
福島県		8	岐阜県	17	中国	鳥取県	12	長崎県	12		
関東		茨城県	8	静岡県		49	島根県	19	熊本県		13
	栃木県	4	愛知県	31		岡山県	42	大分県	15		
	群馬県	10	三重県	50		広島県	70	宮崎県	5		
	埼玉県	6	海外	山口県		31	鹿児島県	12	沖縄	沖縄県	29
	千葉県	14		徳島県	22	香川県	30				
	東京都	43		愛媛県	31	高知県	3				
	神奈川県	26		福岡県	44	佐賀県	2				
				長崎県	12	熊本県	13				



お問合せ

入学試験に関するご質問は、入学グループ宛にメールまたは電話にてお問合せください。
インターネット出願の操作に関しては、大学Webサイトの「よくある質問・お問合せ」の操作に関する項目をご参照ください。
期間限定の志願受付操作サポート窓口も開設します。

● 入学試験に関するお問合せ

入学試験に関するご質問は、入学グループ宛にメールまたは電話にてお問合せください。
受付時間、連絡先は下記の通りです。なお、メールでのお問合せの際は必ずお名前を入力してください。
お問合せ内容に応じて、入学グループ以外の担当部署から回答することがあります。

入学グループ

受付日時

月曜～金曜 9:00～18:00 (8月4日～9月19日は9:00～16:30)
土曜、日曜、祝日、8月8日～8月17日、11月1日～11月3日、12月26日～1月4日は事務局休業日につき、
メール・電話への対応を行っていません。

メール

nyushi@kyoto-seika.ac.jp

電話

075-702-5100

住所

〒606-8588 京都市左京区岩倉木野町137

● インターネット出願の操作に関するお問合せ

「インターネット出願ページ」の「よくある質問・お問合せ」では、「マイページ」での操作に関するお問い合わせへの回答を掲載していますのでご活用ください。

URL

<https://www.guide.52school.com/guidance/net-kyoto-seika>

志願受付操作サポート窓口

受付期間

2025年 8月1日～2026年 3月31日
上記の期間のうち、入試種別ごとの出願期間のみ窓口をご利用いただけます。
年末年始(12月29日～1月3日)は休業させていただきます。

受付時間

毎日 9:00～20:00

電話

0120-752-257

● 入試&高校生・受験生向け情報

入学試験に関してよくある質問、過去の入試結果、過去問題、実技試験の合格参考作品などの情報を「入試&高校生・受験生向け情報」ページに公開しています。また、入学試験に関する追加情報が発生した場合もこのページでお知らせします。

入試&
高校生・受験生
向け情報



資料請求



● その他の入試について

編入学試験／海外帰国生徒入試／社会人入試／大学院入試

大学Webサイトの資料請求ページにてデジタル版(PDF)を公開します。

指定校推薦入試

本学が指定する高等学校にのみ入試要項を提供します。大学Webサイトでは公開しません。

● 入学の取消し

下記に該当する場合は遡及して入学を取消します。あらかじめご了承ください。なお、入学取消しとなった場合、「入学金(200,000円)」を除く、「前期1期授業料」、「同窓会費」、「教育後援会費」、および「外国人留学生向け学研災付帯学生生活総合保険加入費」(対象者のみ)を返還します。

- 2026年 4月1日までに出席資格を満たすことができなかった場合
- 出願書類の虚偽または入学試験における不正行為が発覚した場合
- 過去の在留状況などにより、在留資格を取得できない場合
- 本学が求める外国人留学生の経費支弁能力を証明する書類が提出できない場合
- 在留資格の新規取得および期間更新時に本学での在籍管理が困難と判断される場合
- 在留資格新規取得または期間更新において虚偽の申請が確認された場合

● 個人情報の取扱い

本学では、個人情報保護の重要性を認識し、個人情報保護に関する法令を遵守すると共に、適法かつ適正に個人情報を取り扱います。志願者である皆さんの個人情報については、出願処理、試験実施、可否発表、入学手続、学内における統計的資料作成に使用し、入学手続完了者については、入学後の在籍情報登録、入学準備案内としても使用します。前述の各業務について、本学および当該業務を委託した業者において業務を行うことがありますが、本学が明示する用途のみで使用し、委託業務を超えた利用はありません。また、実技型試験(鉛筆デッサン、色彩構成、マンガ表現)の合格作品については、入学試験の参考資料として本学が発行する『入試ガイド』『入学試験要項』や、本学Webサイト(入試&高校生・受験生向け情報)などで二次利用する場合があります。あらかじめご了承ください。

京都精華大学

〒606-8588 京都市左京区岩倉木野町137

総合型選抜

学校推薦型選抜（公募制）

一般選抜

外国人留学生入試

大学入学共通テスト利用入試

京都精華大学

2026年度入試ガイド

2025年3月発行

京都精華大学 入学グループ